



CommandCenter® Secure Gateway



CC-SG ユーザガイド リリース 3.1

Copyright © 2007 Raritan, Inc.

CC-0L-J

2007年1月

255-80-3100

このページは意図的に空白となっています。

著作権および商標情報

このドキュメントは著作権によって保護されている所有者情報を含んでいます。無断に転載することは、禁じられています。このドキュメントのどの部分も Raritan, Inc. より事前に書面による承諾を得ることなく複写、複製、他の言語へ翻訳することを禁じます。

© Copyright 2007 Raritan、CommandCenter、RaritanConsole、Dominion、Raritan 社のロゴは、Raritan, Inc. の商標です。無断に転載することは、禁じられています。Java は、Sun Microsystems, Inc. の登録商標で、Internet Explorer は、Microsoft Corporation の登録商標です。Netscape および Netscape Navigator は、Netscape Communication Corporation の登録商標です。その他すべての商標は、その所有会社に帰属します。

FCC 情報

この装置は試験済みであり、FCC 規則のパート 15 による Class A デジタル装置の制限に準拠することが証明されています。これらの制限は、商業上の設置における有害な干渉を防止するために設計されています。この装置は、無線周波数の生成し、利用し、放射できるので、指示に従って設置および使用しないと、無線通信への有害な干渉を招く恐れがあります。この装置を居住環境で操作すると、有害な干渉を招く場合があります。

日本の承認

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

事故、自然災害、本来の用途とは異なる使用、不正使用、Raritan 社以外による製品の変更、その他 Raritan 社が関与しない範囲での使用や、通常の運用条件以外での使用による製品の故障については、Raritan 社は責任を負いかねます。



北米および南米におけるサポートは、Raritan テクニカル サポート チームにご連絡ください。

電話 (732) 764-8886、ファックス (732) 764-8887、電子メール tech@raritan.com

米国東海岸時間 月曜日 – 金曜日 午前 8 時から午後 8 時に、テクニカル サポートにご連絡ください。

世界各国でのサポートについては、このガイドの最終ページの各地域の Raritan 社の連絡先をご覧ください。

安全基準

Raritan 社の製品を安全にご利用いただき、重大な故障や危険性のある破壊を避けるために、以下のことにご注意ください。

- 製品の構成には、2 線式の電源コードは使用しないでください。
- コンピュータやモニタの AC 電源コンセントの極性と設置が正しいことを確認してください。
- コンピュータとモニタの両方とも、接地されている電源コンセントのみを使用してください。バックアップ用の UPS を使用している場合、コンピュータ、モニタ、その他のアプライアンスには電源コンセントから電源を供給しないでください。

ラック マウントの安全基準

ラック マウントが必要な Raritan 社製品を使用する場合、以下のことに注意してください。

- 閉め切ったラック環境では、室温より高くなる場合があります。アプライアンスの周辺温度が定格温度を超えないようにしてください (詳細については、『CC-SG 管理者ガイド』の「付録 A」を参照してください)。
- ラック内に十分な空気の流れがあることを確認してください。
- 装置をラックにマウントする際は、機構が平らに搭載されるように注意してマウントしてください。
- 回路に過重電流が流れないよう、装置を電源に接続する際は注意してください。
- 特に、サージプロテクタ (直接接続を除く) など給電接続をはじめとするすべての装置を分岐回路に正しく接地してください。

目次

第 1 章: はじめに	1
前提条件.....	1
用語/略語.....	1
3.1 の新機能.....	1
第 2 章: CC-SG へのアクセス	3
アクセスの前に.....	3
JRE.....	3
ポップアップ ブロックの無効化.....	3
CC-SG Director Client を介したブラウザ ベースのアクセス.....	4
CC-SG Access Client を介したブラウザ ベースのアクセス.....	5
Internet Explorer で想定されるエラー メッセージ.....	6
シック クライアント アクセス.....	7
シック クライアントのインストール.....	7
シック クライアントの使用.....	8
初めてのシリアル インタフェースへのアクセス.....	8
CC-SG Director Client ウィンドウ コンポーネント.....	9
CC-SG Access Client ウィンドウ コンポーネント.....	10
第 3 章: CC-SG Director Client を介したノードの接続と使用	11
ノード アイコン.....	11
インタフェース ステータス.....	12
ノードへの接続.....	12
シリアル インタフェースを介したノードへの接続.....	12
アウト オブ バンド KVM インタフェースを使用したノードへの接続.....	13
インバンド KVM インタフェースを介したノードへの接続.....	15
インバンド パワー インタフェースを介したノード パワーの管理.....	16
IPMI サーバ ノードのパワー制御.....	17
ノードからの切断.....	18
ノード表示.....	19
ツリー表示.....	19
カスタム表示.....	20
ノード ソート時のオプション.....	23
ノードのパワー制御.....	23
単一のインタフェースからのパワー制御.....	23
シングル ノード パワー制御.....	24
ノード グループ パワー制御.....	25
ノード チャット.....	26
ノードの検索.....	27
サポートされるワイルドカード.....	28
プロファイルの変更.....	29
パスワードの変更.....	29
電子メールアドレスの変更.....	30
CC-SG フォント サイズの変更.....	30
検索設定の設定.....	30
第 4 章: CC-SG Access Client を使用したノードへの接続とノードの操作方法	31
アウト オブ バンド シリアル インタフェースを使用したノードへの接続.....	31
アウト オブ バンド KVM インタフェースを使用したノードへの接続.....	32
iLO/RILOE が有効なノードへの接続.....	34
iLO/RILOE パワー インタフェースの管理.....	35
IPMI サーバ ノードのパワー制御.....	35
ノードからの切断.....	35
ノードのパワー制御.....	35
シングル ノード パワー制御.....	35
ノード グループ パワー制御.....	36
ノードリスト.....	37
[すべてのノード] リスト.....	37
[お気に入りのノード] リスト.....	37

[最近使用] ノードリスト	39
カスタム表示	39
カスタム表示の変更	39
新規カスタム表示の追加	40
カスタム表示名の変更	40
カスタム表示の削除	40
デフォルトのカスタム表示の指定	40
カスタム表示の適用	40
ノードの検索	40
サポートされるワイルドカード	41
ノード チャット	41
プロフィール	41
パスワードの変更	41
電子メールアドレスの変更	42
デフォルトのノードリストの設定	42
第 5 章: レポートの生成	43
アクティブ ノード レポート	43
ユーザ データ レポート	44
付録 A : ショートカット キー	45

図表目次

図 1 CC-SG Director Client ログイン画面	4
図 2 CC-SG Director Client ホーム画面	5
図 3 Access Client ログイン画面	5
図 4 CC-SG Access Client ホーム画面	6
図 5 シック クライアント IP 指定ウインドウ	7
図 6 CC-SG ウィンドウ コンポーネント	9
図 7 CC-SG Access Client コンポーネント	10
図 8 ノード タブ	11
図 9 ノード プロファイル画面 - シリアル インタフェース	12
図 10 Raritan シリアル コンソール	13
図 11 ノード プロファイル画面 - アウト オブ バンド KVM インタフェース	13
図 12 Raritan Remote Client ウィンドウ	14
図 13 Multi-Platform Client ウィンドウ	14
図 14 ノード プロファイル画面、インバンド KVM インタフェース	15
図 15 HP のリモート コンソール アプレット	16
図 16 ノード プロファイル画面、インバンド パワー インタフェース	16
図 17 パワー制御画面、iLO/RILOE	17
図 18 パワー制御画面 (IPMI サーバ ノード用)	18
図 19 標準ツリー表示のノード ツリー	19
図 20 カスタム表示画面	20
図 21 カスタム表示の追加ウインドウ	21
図 22 カスタム表示の編集 ウィンドウ	22
図 23 カスタム表示の削除ウインドウ	22
図 24 単一のインタフェースからのパワー制御	23
図 25 パワー制御画面	24
図 26 グループ パワー制御画面	25
図 27 チャット セッション	26
図 28 ノードの検索 -- 左：一致する文字列の検索; 右：検索結果でフィルタ	27
図 29 プロファイル画面	29
図 30 CC-SG HTML Client のノードの詳細画面	31
図 31 ノード プロファイル画面 -- アウト オブ バンド シリアル インタフェース	31
図 32 Raritan Serial Client ウィンドウ	32
図 33 ノード プロファイル画面 -- アウト オブ バンド KVM インタフェース	32
図 34 Raritan Remote Client ウィンドウ	33
図 35 Multi-Platform Client ウィンドウ	33
図 36 ノード プロファイル画面 -- iLO/RILOE KVM インタフェース	34
図 37 HP のリモート コンソール アプレット	35
図 38 すべてのノードリスト	37
図 39 お気に入りリスト	38
図 40 お気に入りのソート ウィンドウ	38
図 41 最近使用リスト	39
図 42 アクティブ ノード レポート	43
図 43 すべてのユーザのデータ レポート	44

このページは意図的に空白となっています。

第 1 章：はじめに

このマニュアルは、ノードアクセス権を取得し、Raritan デバイス、または IPMI サーバに接続された特定のノードにアクセスできるユーザを対象としています。ノードアクセス権を取得していると、ノードへの接続、ノードへのパワー制御、カスタム表示の作成、ノードの検索が可能になり、また、ノードチャットを使用して同じノードに接続している他のユーザと会話することもできます。さらに、アクティブノードレポートやユーザデータレポートも使用可能です。

前提条件

ノードへの接続や管理の前に、ノードおよびノードに接続するために使用するアプリケーションの設定を行う必要があります。詳細については、Raritan の『**CommandCenter Secure Gateway 管理者ガイド**』を参照してください。

用語/略語

このマニュアルで使用する用語と略語には、次のようなものがあります。

- **iLO/RILOE** – CC-SG で管理可能な Hewlett Packard 社の Integrated Lights Out/Remote Insight Lights Out サーバです。iLO/RILOE デバイスのターゲットの電源は、直接にオン、オフ、再投入されます。
- **インバンドアクセス** – TCP/IP ネットワーク経由で、ネットワークのノードを修正またはトラブルシューティングします。KVM およびシリアル デバイスは、インバンドアプリケーションである RemoteDesktop Viewer, SSH Client, VNC Viewer を使ってアクセスできます。
- **IPMI サーバ** (Intelligent Platform Management Interface) – CC-SG で制御できるサーバです。
- **アウトオブバンドアクセス** – Raritan Remote Client (RRC)、Raritan Console (RC)、または Multi-Platform Client (MPC) などのアプリケーションを使って、ネットワーク上にある KVM やシリアルの管理対象ノードを修正またはトラブルシューティングします。
- **ポート** – Raritan デバイスとノード間の接続ポイントです。ポートは Raritan デバイスにのみ存在し、デバイスからノードへの経路を特定します。
- **ノード** – サーバ、デスクトップ PC、または他のネットワーク機器など、CC-SG ユーザがアクセスできるターゲットシステムです。

3.1 の新機能

CC-SG 3.1 では、次の機能が利用できます。

注： さらに詳しい説明を参照するには、ページ番号をクリックします。

機能	ページ
改善された Java GUI – CC-SG Director Client	4 ページ
HTML ベースクライアント – CC-SG Access Client	5 ページ

このページは意図的に空白となっています。

第 2 章: CC-SG へのアクセス

CC-SG には 2 つの方法でアクセスすることができ、本章でその方法について解説します。

- ブラウザを介して: CC-SG は多数の Web ブラウザをサポートします (<http://www.raritan/support> で [Firmware Upgrades] をクリックし、[CommandCenter Secure Gateway] をクリックして、互換表でブラウザおよびプラットフォームの全一覧を参照してください)。CC-SG ではブラウザをベースにした、**CC-SG Director Client** と **CC-SG Access Client** の 2 種類のアクセス オプションが提供されています。
- シック クライアントを介して: ご使用のクライアント コンピュータに Java Web Start シック クライアントをインストールできます。シック クライアントはブラウザベースの Java クライアントと同様に機能します。

注: どのクライアントを使用する場合も、複数のユーザが同時に接続できます。

アクセスの前に

CC-SG にはユーザの PC から Web ブラウザを通じてアクセスできます。以下について確認してください。

JRE

正しく機能するために、ブラウザには適切なバージョンの Java Runtime Environment (JRE) がインストールされている必要があります。ご使用のバージョンを確認するには、以下の手順に従います。

1. [コントロール パネル] を開きます。
2. [プログラムの追加と削除] をクリックします。
3. お使いの Java バージョンがお使いの CC Secure Gateway リリースと互換性があることを確認します。
<http://www.raritan.com/support> の互換表を参照してください。[Firmware Upgrades]、[CommandCenter]、[Compatibility Matrix] の順にクリックします。

JRE を適正なバージョンにアップグレードするには、<http://java.sun.com/products/archive> をご覧ください。

ポップアップ ブロックの無効化

お使いのクライアント PC とブラウザでは、すべてのポップアップ ブロックの他、デフォルトで有効化されている XP SP2 などのすべてのファイアウォール ソフトウェアも無効にしておく必要があります。

ポップアップ ブロックを無効にするには、以下の手順に従います。

1. [コントロール パネル] を開きます。
2. [インターネット オプション] をクリックします。
3. [プライバシー] タブをクリックします。
4. [ポップアップをブロックする] チェック ボックスをオフにします。
5. [適用]、[OK] の順にクリックします。

CC-SG Director Client を介したブラウザ ベースのアクセス

1. サポートするブラウザを使用して、CC-SG の URL に続けて「/admin」を入力し、「[https://< IP アドレス>/admin](https://<IPアドレス>/admin)」を入力します。たとえば、「<https://10.0.3.30/admin>」と入力します。マシン上のサポートされていない Java Runtime Environment バージョンを使用すると、警告が表示されます。ポップアップ ウィンドウで、適切な JRE バージョンを CC-SG サーバからダウンロードするか (利用可能な場合のみ)、Sun Microsystems の Web サイトからダウンロードするか、あるいは不適切なバージョンのまま続けるかを選択し、[OK] をクリックします。
2. 適切な JRE バージョンの (または不適切なバージョンで続行する) ログイン ウィンドウが表示されます。

ユーザー名:

パスワード:

ログイン キャンセル

ステータス:

図 1 CC-SG Director Client ログイン画面

3. CC-SG 管理者が制限付きサービス同意書を有効にしている場合は、同意書のテキストを読み、**[制限付きサービス同意書を理解の上、同意します]** のチェックボックスをオンにします。
4. [ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[ログイン] をクリックします。

- ログインが成功すると、CC-SG アプリケーション ウィンドウが表示されます。CC-SG の操作コマンドを含むメニュー バーとツール バーが画面の一番上に表示されます。[ノード] タブにノード選択ツリーが表示されます。中央のパネルには、操作画面が表示されます。

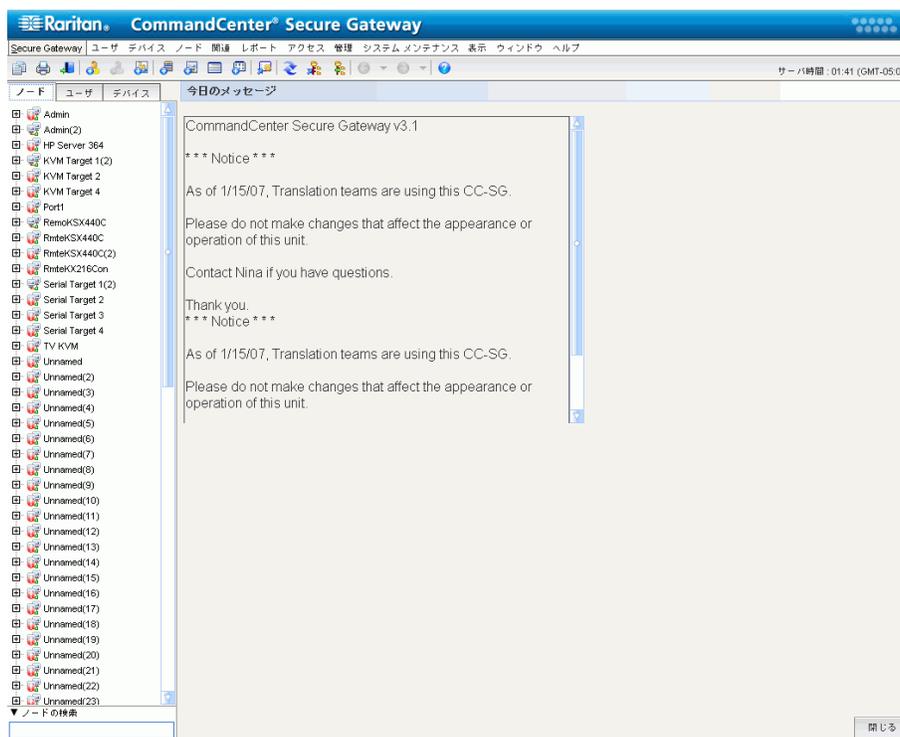


図 2 CC-SG Director Client ホーム画面

CC-SG Access Client を介したブラウザ ベースのアクセス

- サポートするブラウザを使用して、CC-SG の URL、「<https://<IP アドレス>>」と入力します。たとえば、「<https://10.0.3.30>」と入力します。ログイン画面が表示されます。

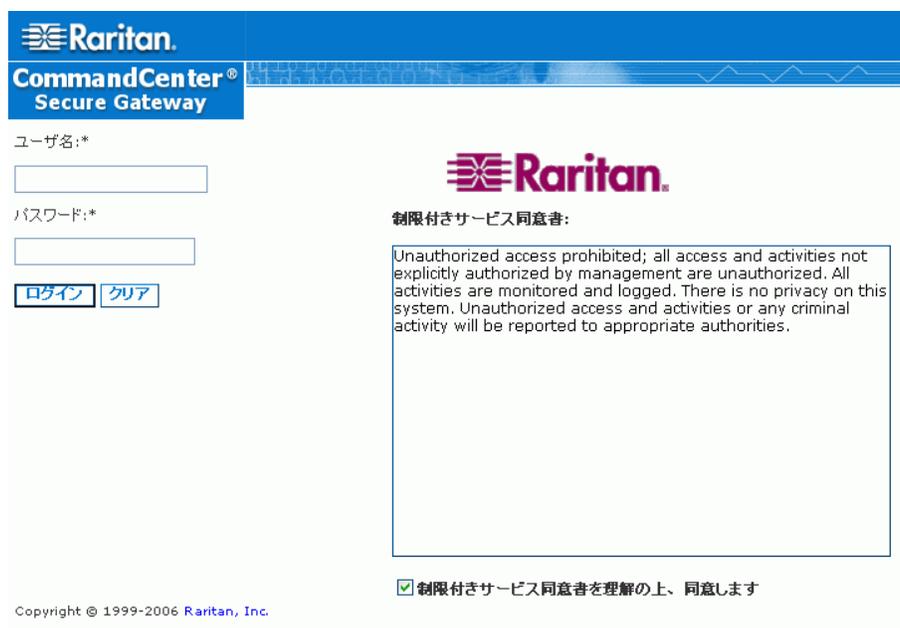


図 3 Access Client ログイン画面

2. CC-SG 管理者が制限付きサービス同意書を有効にしている場合は、同意書のテキストを読み、**[制限付きサービス同意書を理解の上、同意します]** のチェックボックスをオンにします。
3. ユーザ名とパスワードを入力します。
4. **[ログイン]** をクリックします。
5. ログインが成功すると、CC-SG Access Client のホーム画面が表示されます。



図 4 CC-SG Access Client ホーム画面

Internet Explorer で想定されるエラー メッセージ

Internet Explorer を使用して、アクセスできるノードが多数ある場合、CC-SG のロード中に以下のエラー メッセージが表示される場合があります。

「このページのスクリプトが、Internet Explorer の実行速度を遅くしています。スクリプトを実行し続けると、コンピュータが反応しなくなる可能性があります。このスクリプトを中断しますか？」

この警告メッセージはスクリプトの実行が想定されたデフォルトの時間より長くかかる場合に表示されます。警告メッセージでは [いいえ] をクリックして、スクリプトの実行を継続してください。警告メッセージが表示されかどうかは、固有のクライアントやサーバの速度、およびロードするデータの量によって異なります。

Internet Explorer でスクリプトを実行する時間のデフォルト値は変更することができます。手順については、Microsoft サポート技術情報 (KB) の記事 175500 を参照してください。

Firefox で同様のメッセージが表示された場合は、Firefox のマニュアルに掲載されている手順を参照してください。

シック クライアント アクセス

CC-SG シック クライアントを使用すると、Web ブラウザを介してアプレットを実行する代わりに Java Web Start アプリケーションを起動して CC-SG に接続できます。ブラウザの代わりにシック クライアントを使用する利点は、シック クライアントの方が速度と効率性の面でブラウザより優れている点です。

シック クライアントのインストール

1. CC-SG からシック クライアントをダウンロードするには、Web ブラウザを起動して、URL 「`http(s)://<IP_address>/install`」と入力します。<IP_address> は、CC-SG の IP アドレスです。
2. セキュリティ警告メッセージが表示されたら、**[開始]** をクリックしてダウンロードを続行します。
3. ご使用のクライアント コンピュータが Java バージョン 1.4 を実行している場合は、**[Desktop Integration]**(デスクトップ統合) ウィンドウが表示されます。Java のシック クライアント用ショートカットアイコンをデスクトップに追加したい場合は、**[はい]** をクリックします。
4. ダウンロードが完了したら、CC-SG IP アドレスを指定できる新規ウィンドウが表示されます。

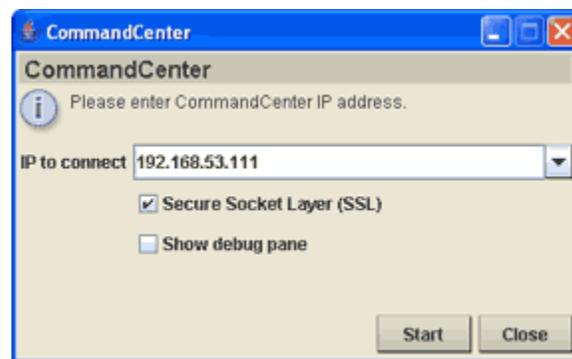


図 5 シック クライアント IP 指定ウィンドウ

5. **[接続先 IP]** フィールドにアクセスする CC-SG ユニットの IP アドレスを入力します。接続後、このアドレスは **[接続先 IP]** ドロップダウン リストから使用できるようになります。IP アドレスはご使用のデスクトップに保存されているプロパティ ファイルに格納されます。
6. CC-SG がセキュアなブラウザ接続に設定されている場合は、**[セキュアソケット レイヤ (SSL)]** チェックボックスをオンにする必要があります。CC-SG がセキュアなブラウザ接続に設定されていない場合は、**[セキュアソケット レイヤ (SSL)]** チェックボックスをオフにする必要があります。この設定は正しくなければなりません。正しくない場合、シック クライアントは CC-SG に接続できません。
 - **CC-SG の設定を確認するには、以下の手順に従います。****[管理]** メニューで、**[セキュリティ]** をクリックします。**[全般]** タブで、**[ブラウザ接続プロトコル]** フィールドを参照します。**[HTTPS/SSL]** オプションが選択されている場合は、シック クライアントの IP アドレス指定ウィンドウの **[セキュアソケット レイヤ (SSL)]** チェックボックスをオンにする必要があります。**[HTTP]** オプションが選択されている場合は、シック クライアントの IP アドレス指定ウィンドウの **[セキュアソケット レイヤ (SSL)]** チェックボックスをオフにする必要があります。
7. **[開始]** をクリックします。
 - a. マシン上のサポートされていない Java Runtime Environment バージョンを使用すると、警告メッセージが表示されます。プロンプトの表示に従って、サポートされている Java バージョンをダウンロードするか、現在インストールされているバージョンで続行します。

8. ログイン画面が表示され、シック クライアントはブラウザベースの Java クライアントと同様の表示および動作を行います。制限付きサービス同意書が有効になっている場合は、この同意書のテキストを読んでから、**[制限付きサービス同意書を理解の上、同意します]** チェックボックスをオンにします。
9. 対応するフィールドに**ユーザー名とパスワード**を入力し、**[ログイン]** をクリックして続行します。

シック クライアントの使用

シック クライアントがインストールされたら、ご使用のクライアント コンピュータで 2 通りの方法でこのシック クライアントにアクセスできます。このアクセス方法は、使用している Java のバージョンによって決まります。

a. Java 1.4.x

ご使用のクライアント コンピュータが **Java バージョン 1.4.x** を実行していて、シック クライアントのインストール時に **[Desktop Integration]**(デスクトップ統合) ウィンドウで **[はい]** をクリックしている場合、デスクトップのショートカット アイコンをダブルクリックして、シック クライアントを起動し、CC-SG にアクセスすることができます。このショートカット アイコンがない場合は、いつでも作成できます。クライアント コンピュータで **AMcc.jnlp** を検索し、そのファイルにショートカットを作成します。

b. Java 1.5

ご使用のクライアント コンピュータが **Java バージョン 1.5** を実行している場合は、以下の操作を実行します。

- a. Java コントロール パネルの Java Application Cache Viewer からシック クライアントを起動します。
- b. Java コントロール パネルの Java Application Cache Viewer を使用して、デスクトップにシック クライアント用のショートカット アイコンをインストールします。

初めてのシリアル インタフェースへのアクセス

シリアル インタフェースを介して接続されているリモート ノードにアクセスするには、**[ノード]** タブをクリックし、インタフェースを選択します。ノードがコンソール アプリケーション用に設定されている場合は、コンソール アプレットが Raritan Systems の署名付きアプレットであることを示すセキュリティ警告が表示されます。**[はい]** をクリックすると、コンソールが表示されます。

警告: セキュリティ警告画面 (IE のみ表示) は、ユーザが初めてシリアル インタフェースに接続したときに表示されます。この画面が表示されたら **[はい] をクリックします。 **[いいえ]** をクリックすると、コンソール アプリケーションは起動しません。CC-SG を終了し、ブラウザを終了して再起動して、CC-SG に再接続する必要があります。**

RaritanConsole 操作の詳細については、Raritan の『RaritanConsole ユーザ ガイド』を参照してください。

カスタム アプリケーションが KVM またはシリアル インタフェースに関連付けられている場合は、そのインタフェースを選択すると関連付けられたアプリケーションが起動します。Raritan Remote Client や RaritanConsole は、CC-SG に統合できるカスタム アプリケーションの例です。

CC-SG Director Client ウィンドウ コンポーネント

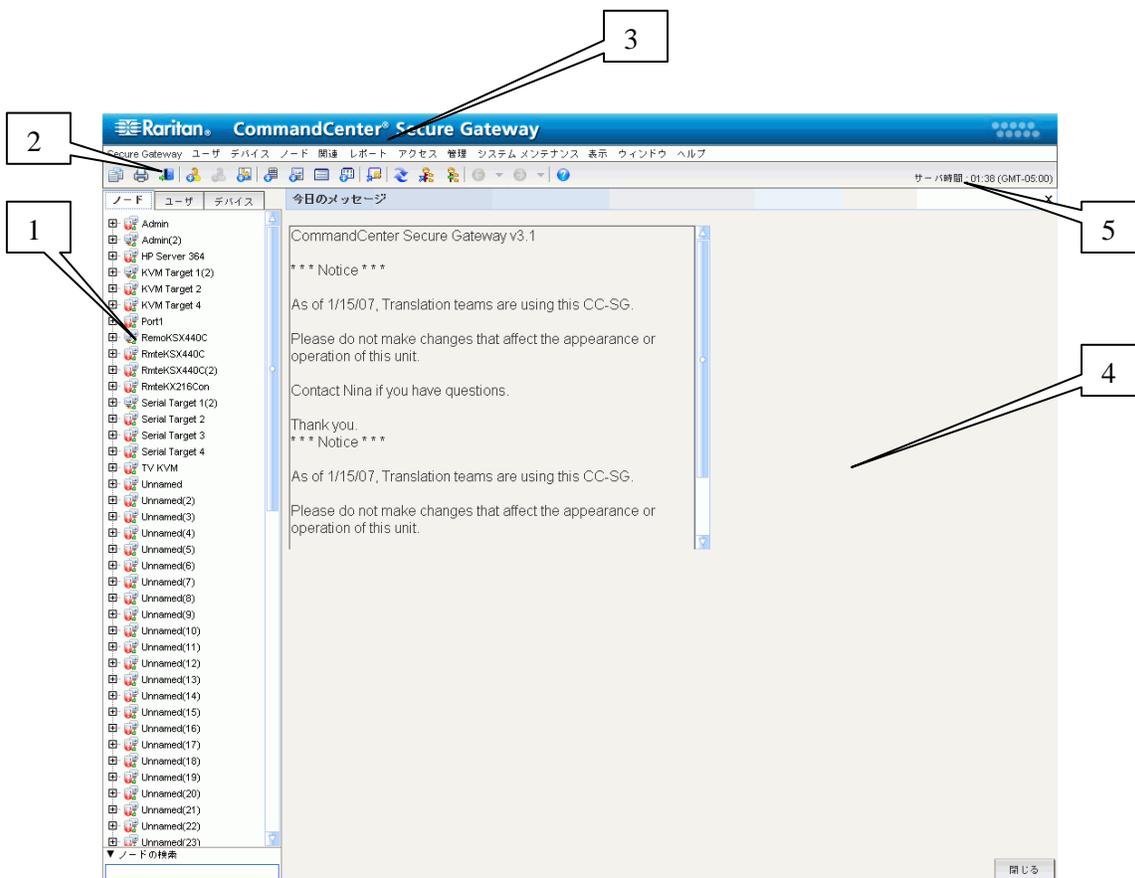


図 6 CC-SG ウィンドウ コンポーネント

1. **ノード選択タブ:** ツリー表示で [ノード] をクリックしてすべてのノードを表示します。インターフェイスは親ノードの下に分類されています。+ と - の記号をクリックすると、ツリーを広げたり折りたたんだりすることができます。ノード プロファイルを表示するにはノードをクリックします。インターフェイスを右クリックして、[接続] を選択し、そのインターフェイスに接続します。ノードはノード名 (アルファベット順)、またはノード ステータス (利用可能、使用中、利用不可) ごとにソートできます。ツリー表示を右クリックし、[ノード並べ替えオプション] をクリックして、[ノード名でソート] または [ノード ステータスでソート] をクリックします。
2. **クイック コマンド ツールバー:** このツールバーは、よく使うコマンドを迅速に実行するためのショートカット ボタンの役割を果たします。
3. **操作メニュー バー:** このメニューには、CC-SG の操作コマンドが含まれています。また、[ノード] 選択タブに表示されているアイコンを右クリックしても、これらのコマンドの一部にアクセスできます。表示されるメニューおよびメニューの項目は、ユーザ アクセス権限により決まります。
4. **メイン表示領域:** メニュー バーおよび/またはツール バーから選択するコマンドは、このメイン領域に表示されます。この領域の表示を「画面」と呼びます。画面は複数のパネルに分割される場合があります。
5. **サーバ時間:** CC-SG で設定された現在の時刻とタイムゾーンです。この時間はクライアントで使用されている時間と異なる場合があります。

CC-SG Access Client ウィンドウ コンポーネント

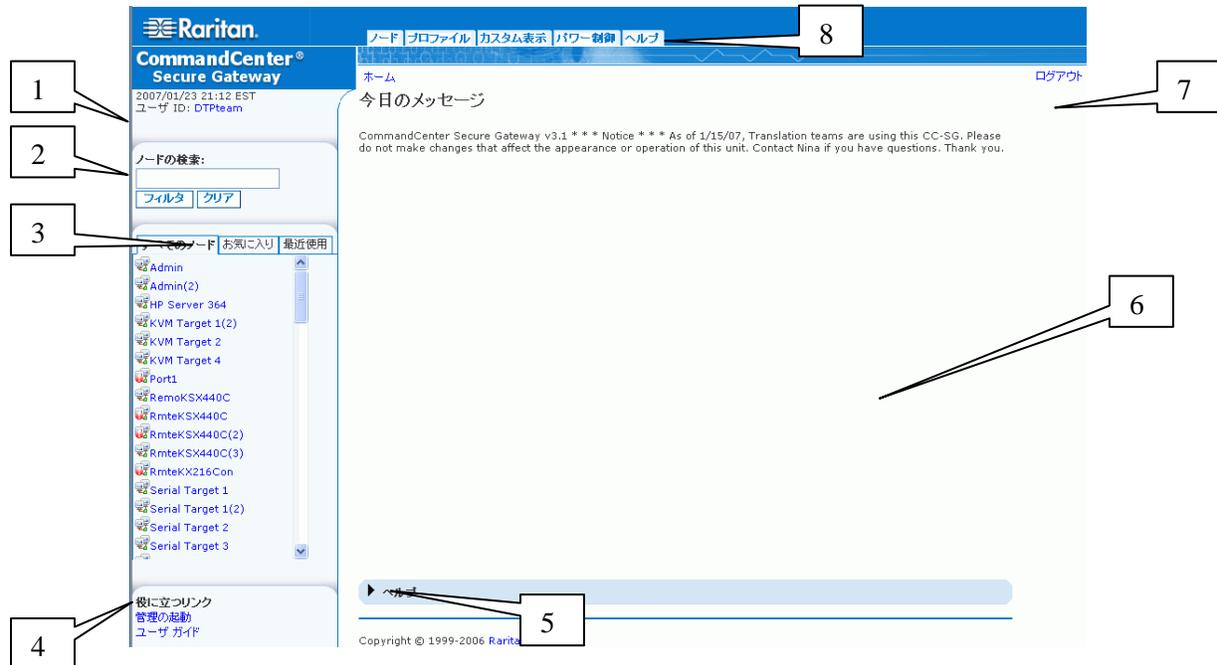


図 7 CC-SG Access Client コンポーネント

1. **ユーザ ID と日付:** CC-SG システムの日付と時刻、およびユーザ ID が画面左上部に表示されます。[ユーザ ID] ハイパーリンクをクリックして、[プロフィール] タブを開きます。
2. **検索:** 検索機能により、2 種類の方法でノードを検索できます。
3. **ノードリスト:** 検索領域の下部に表示されます。それぞれのリストに各ノードのステータスを表示するアイコンが表示されます。[すべてのノード] リストにはアクセスできるすべてのノードが一覧表示されます。[お気に入り] リストにはユーザが指定したノードリストが表示されます。[お気に入り] ノードリストでは、ノードを追加、削除、並べ替えできます。「最近使用」リストには最近アクセスした 10 個のノードが表示されます。[ノード] タブを開くにはノードをクリックします。[ノード] タブでは選択したノードの詳細情報を示すノード プロファイルが表示されます。インターフェースに接続できる他、他のユーザとチャットしたり、[ノード] タブからパワー制御操作を実行したりできます。
4. **役に立つリンク:** [役に立つリンク] セクションには、管理機能を実行できる CC-SG Director Client を起動するためのリンクの他、CommandCenter Secure Gateway ユーザガイドを開くためのリンクが含まれます。
5. **ヘルプ:** 画面下部に表示されるヘルプのセクションは、黒い矢印をクリックすることで、広げたり折りたたんだりすることができます。
6. **メイン表示領域:** メニュー バーやツール バーから選択するコマンドは、このメイン領域に表示されます。
7. **ログアウト:** CC-SG からログアウトするには [ログアウト] をクリックします。
8. **ナビゲーションタブ:** [ナビゲーション] タブは各画面上部に位置します。関連付けられた画面を開くにはタブをクリックします。

第 3 章 : CC-SG Director Client を介したノードの接続と使用

ノードコマンドを使用すると、CC-SG が管理するシリアル デバイス、IPMI サーバ、KVM デバイスをノードに接続したり、ノードから切断したりできます。

[ノード] タブをクリックすると、CC-SG に接続されたノードに関する情報がノード ツリーに表示されます。ノードは名前アルファベット順に表示されるか、または利用可能なステータスごとに分類されます。ステータスによって並べ替えられたノードは、利用可能ステータス順に分類された上で、さらに、アルファベット順にソートされます。ソート方法を変更する場合は、ツリーを右クリックして、[ノード並べ替えオプション] をクリックし、さらに [ノード名でソート] または [ノードステータスでソート] をクリックします。[ノードプロファイル] 画面を表示するにはノードをクリックします。

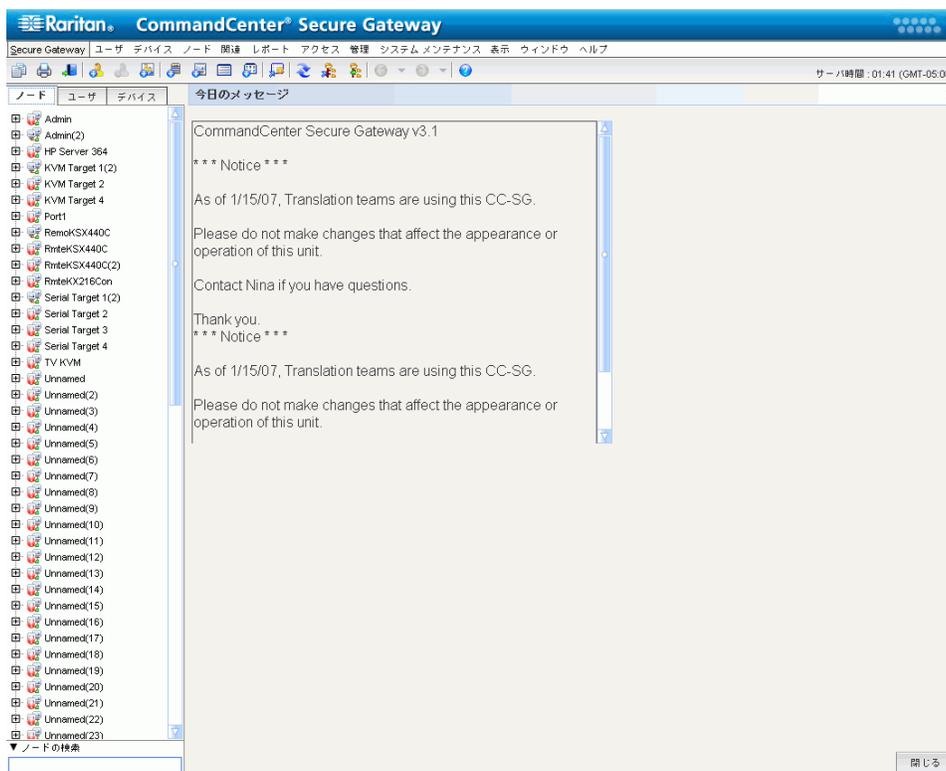


図 8 ノードタブ

ノードアイコン

ノード ツリーでは、区別しやすいように、ノード アイコンを別々の色を使用して表示します。アイコンの内容についての説明については、下表を参照してください。

アイコン	意味
	ノードは利用可能 - ノードには使用可能なインタフェースが少なくとも 1 つあります。
	ノードは利用不可能 - ノードのすべてのインタフェースは使用中です。

インタフェース ステータス

各ノードにはノードに接続するためのインタフェースが 1 つ以上用意されています。ノード プロファイルの [インタフェース] セクションの [可用性] 列を確認することで、インタフェースが使用可能かどうかを把握できます。

可用性	意味
アイドル	インタフェースは未使用です。
接続しました	インタフェースは使用中ですが、他のユーザも利用できます。
使用中	インタフェースは使用中で、これ以上ユーザを受け入れられません。

注: KX 1.4 デバイスでは可用性のカテゴリとして上記の「使用中」を使用しません。KX 1.4 のインタフェースの可用性カテゴリに「接続しました」と表示されている場合は、「接続しました」と「使用中」のどちらかの状態と考えられます。

ノードへの接続

いったんノードのインタフェースが設定されると、Raritan Console (RC)、Raritan Serial Console (RSC)、Raritan Remote Client (RRC)、または Multi-Platform Client (MPC) など、設定されたアプリケーションを通してこれらのノードに接続し、ノードを管理できるようになります。

シリアル インタフェースを介したノードへの接続

1. ノード ツリーで、接続および管理するノードを選択します。[ノード プロファイル] 画面が表示されます。



図 9 ノード プロファイル画面 - シリアル インタフェース

2. [ノード プロファイル] 画面の [インタフェース] セクションにすべての設定されたインタフェースが表示されます。
3. [名称] 列で、ノードへの接続に使用するシリアル インタフェースのハイパーリンクをクリックします。

- RSC アプリケーションが新しいウィンドウで起動します。アプリケーションを使用してノードを管理します。

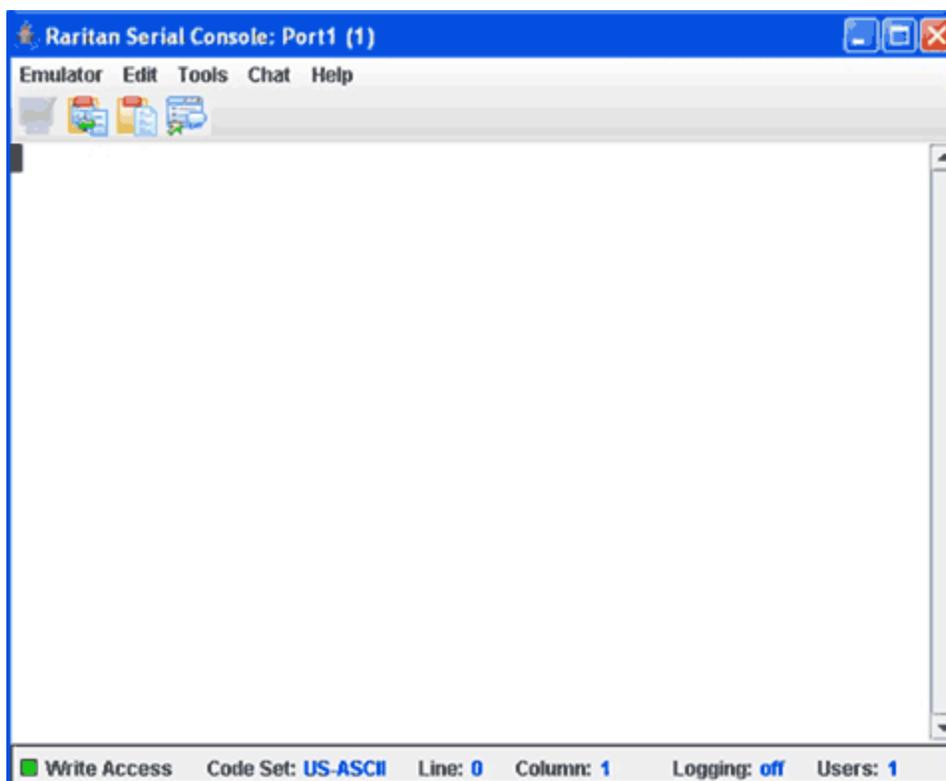


図 10 Raritan シリアル コンソール

- RRC によるノードの管理を終了する場合は、RSC の [Emulator] メニューの [Exit] をクリックします。
- シリアル インタフェースを介して他のノードに接続し、それらを管理するには、このセクションの該当する手順を繰り返します。

アウト オブ バンド KVM インタフェースを使用したノードへの接続

- ノード ツリーで、接続および管理するノードを選択します。[ノード プロファイル] 画面が表示されます。

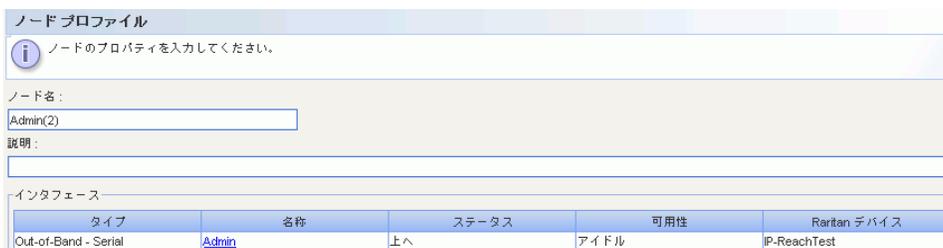


図 11 ノード プロファイル画面 - アウト オブ バンド KVM インタフェース

- [ノード プロファイル] 画面の [インタフェース] セクションにすべての設定されたインタフェースが表示されます。
- [名称] 列でノードへの接続に使用するアウト オブ バンド KVM インタフェースのハイパーリンクをクリックします。
- RRC または MPC アプリケーションが新しいウィンドウで起動します。

5. [Connection Status] ウィンドウに接続の状態が表示されます。接続が確立されると、RRC または MPC が開きます。

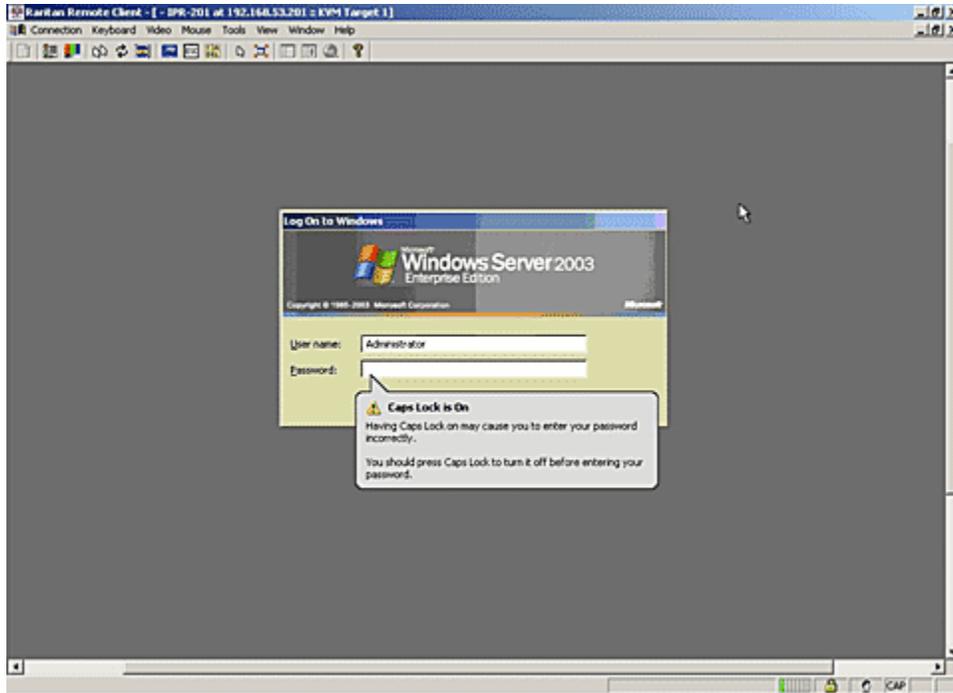


図 12 Raritan Remote Client ウィンドウ

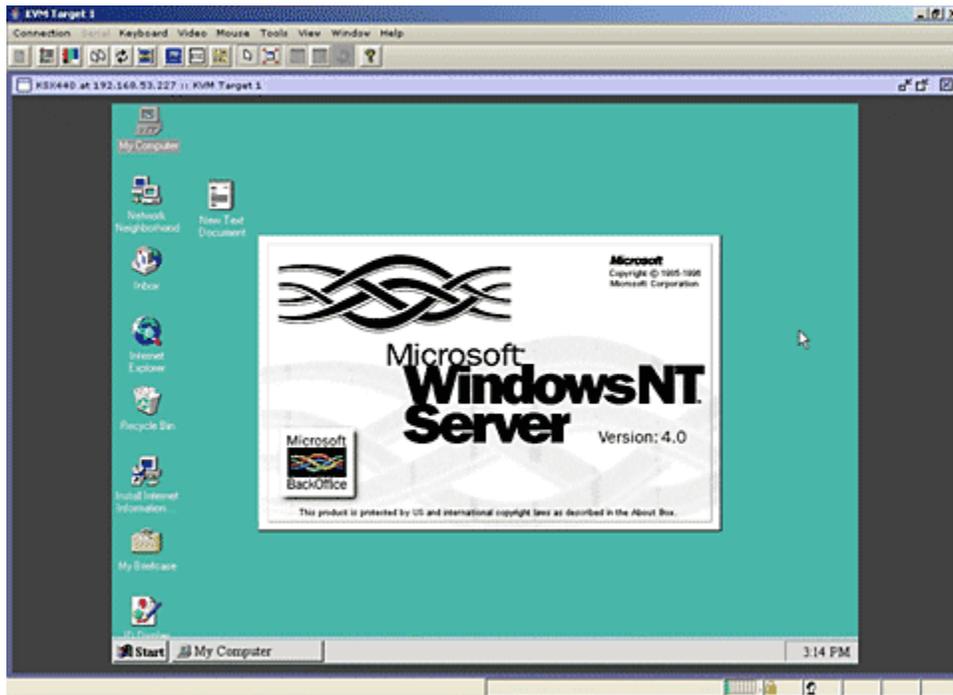


図 13 Multi-Platform Client ウィンドウ

注: MPC アプリケーションを使用している場合、MPC のユーザ プロファイルは CC-SG にも保存されます。それ以後、MPC を使用するノードに接続すると、保存されている設定が MPC セッションにも適用されます。

6. RRC または MPC によるノードの管理を終了する場合は、[Connection] メニューの [Exit] をクリックします。
7. KVM インタフェースを使用して他のノードへの接続と管理を実施するには、このセクションの手順を繰り返します。

注: KVM ノードがスリープモードで「ビデオ信号なし」と表示される場合は、キーボードのスペースバーを押してノードのスリープモードを解除します。

インバンド KVM インタフェースを介したノードへの接続

1. ノードツリーで、接続および管理するノードを選択します。[ノードプロファイル] 画面が表示されます。下の図では、インバンドの KVM インタフェースを持つノード (HP iLO/RILOE 有効化済み) を示しています。



図 14 ノードプロファイル画面、インバンド KVM インタフェース

2. [ノードプロファイル] 画面の [インタフェース] セクションにすべての設定されたインタフェースが表示されます。
3. [名称] 列でノードへの接続に使用するインバンド KVM インタフェースのハイパーリンクをクリックします。
4. **Remote Console** アプレットが新しいウィンドウで起動します。アプレットが起動すると、KVM でノードにアクセスできるようになります。

注: インバンド KVM インタフェースにアクセスできない場合、他のユーザがこのインタフェースを使用中である可能性があります。

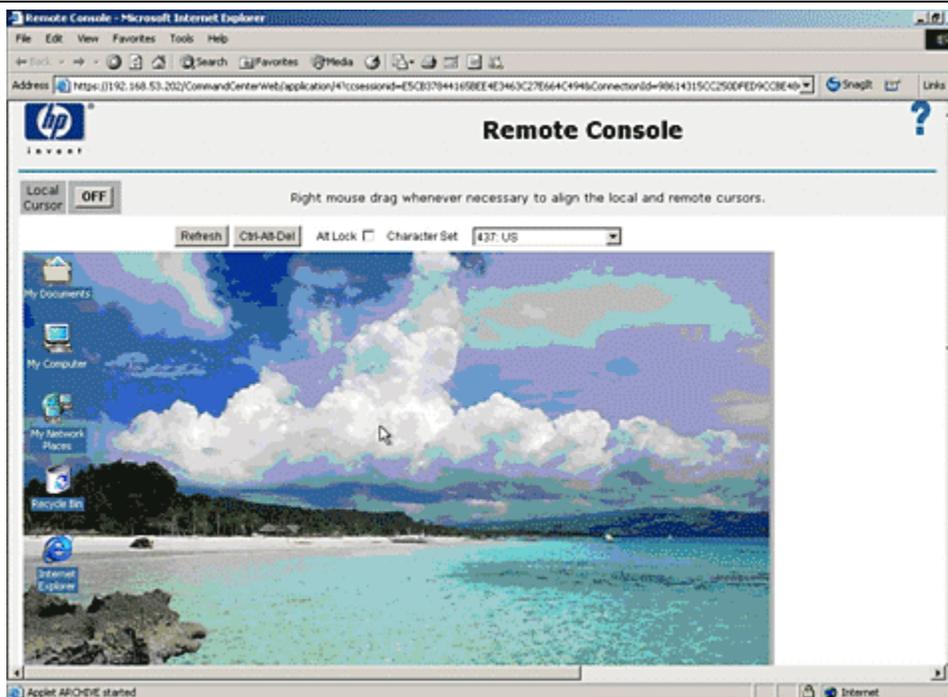


図 15 HP のリモートコンソール アプレット

5. Remote Console を使い終えたら、ブラウザ ウィンドウを閉じます。
6. インバンド KVM インタフェースを介して他のノードに接続し、それらを管理するには、このセクションの該当する手順を繰り返します。

インバンド パワー インタフェースを介したノード パワーの管理

関連付けられたインバンド パワー インタフェースを使用して、ノードの電源オン、電源オフ、電源オン・オフ (電源を切断後、再投入)、正常なシャットダウンを行うことができます。ノードで正常なシャットダウンを実行すると、新たなプロセスを開始せず、現在実行中のすべてのプロセスを完了できるため、プロセスを中断することなくノードをシャットダウンできます。

1. [ノード] ツリーで、インバンド パワー インタフェースを使用して管理するノードを選択します。[ノード プロファイル] 画面が表示されます。下の図では、インバンドの HP iLO/RILOE パワー制御インタフェースを持つノード (HP iLO/RILOE 有効化済み) を示しています。

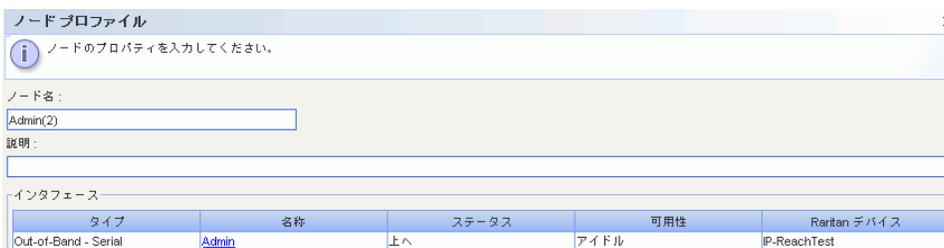


図 16 ノード プロファイル画面、インバンド パワー インタフェース

2. [ノード プロファイル] 画面の [インタフェース] セクションにすべての設定されたインタフェースが表示されます。

3. [名称] 列でノードへの電源の制御に使用するインバンド パワー インタフェースのハイパーリンクをクリックします。[パワー制御] 画面が表示されます。



図 17 パワー制御画面、iLO/RILOE

4. 選択されたノードの名前が [ノード] フィールドに表示されます。
5. [利用可能] リストで、ノードのパワー制御を実施する際に使用するパワー インタフェースを選択し、[追加] をクリックしてインタフェースを [選択中] リストに移動します。
6. [操作] ドロップダウン矢印をクリックし、リストから [オン]、[オフ]、[サイクル] または [正常なシャットダウン] を選択します。
7. [操作] フィールドで [オン] または [オフ] を選択し、[選択中] リストで複数のインタフェースを選択した場合、[シーケンス間隔 (秒)] フィールドに、インタフェース間で経過する時間を秒数 (0 ~ 120 秒の間) で入力します。
8. [OK] をクリックして、パワー制御操作を開始します。

注: iLO/RILOE デバイスのノードの電源は、直接にオン、オフ、再投入されます。KX や SX などの Raritan Dominion デバイ스에接続されたノードは、Dominion デバイスのポートと関連付けられているサージプロテクタのアウトレットを使用して管理されます。

IPMI サーバノードのパワー制御

IPMI サーバノードでは関連付けられたパワー制御 IPMI インタフェースを使用して直接、電源のオン、オフ、再投入、正常なシャットダウンを行うことができます。

1. [ノード] ツリーで、電源を管理する IPMI サーバノードを選択します。[ノードプロファイル] 画面が表示されます。
2. [ノードプロファイル] 画面の [インタフェース] セクションにすべての設定されたインタフェースが表示されます。

- [名称] 列で IPMI サーバノードへの電源の制御に使用するパワー制御 IPMI インタフェースのハイパーリンクをクリックします。[パワー制御] 画面が表示されます。



図 18 パワー制御画面 (IPMI サーバノード用)

- 選択されたノードの名前が [ノード] フィールドに表示されます。
- [利用可能] リストで、ノードの電源を管理する際に使用するパワー制御 IPMI インタフェースを選択し、[追加] をクリックしてインタフェースを [選択中] リストに移動します。
- [操作] ドロップダウン矢印をクリックし、リストから [オン]、[オフ]、[サイクル] または [正常なシャットダウン] を選択します。
- [操作] フィールドで [オン] または [オフ] を選択し、[選択中] リストで複数のインタフェースを選択した場合、[シーケンス間隔 (秒)] フィールドに、インタフェース間で経過する時間を秒数 (0 ~ 120 秒の間) で入力します。
- [OK] をクリックして、パワー制御操作を開始します。
- 他の IPMI サーバノードの電源を管理するには、このセクションの該当する手順を繰り返します。

ノードからの切断

現在接続中のノードから切断するにはいくつかの方法があります。

- [ノード] ツリーで、切断するアクティブ ノードを選択します。[ノード] メニューの [切断] をクリックします。
- [ノード] ツリーで、切断するアクティブ ノードを右クリックし、[切断] をクリックします。
- [ノード] ツリーで、アクティブ ノードに接続する際使用していたインタフェースを右クリックし、[切断] をクリックします。
- ノードの管理に使用していたアプリケーションを閉じます。

注: 自分が開始していないポートから切断することはできません。

ノード表示

アクセスできるすべてのノードが、CC-SG Director Client の左パネルの [ノード] タブに表示されます。デフォルトでは、ノードは標準のツリー表示形式で表示されます。標準ツリー表示ではノードはアルファベット順に並んでいます。別の順番で並べ替える場合は、カスタム表示を作成できます。カスタム表示を使用すると、CC-SG 管理者により割り当てられたカテゴリを基に、異なる基準でノードを分類できます。また、ツリー表示とカスタム表示のいずれでも、名前別またはステータス別にノードを並べ替えることができます。

ツリー表示

標準ツリー表示ではノードはアルファベット順に並んでいます。[ノード] タブでツリー表示を使用するには、以下の手順に従います。

1. [ノード] メニューの [表示の変更] をクリックし、さらに [ツリー表示] をクリックします。ノードがツリー形式で表示される [ツリー表示] になります。

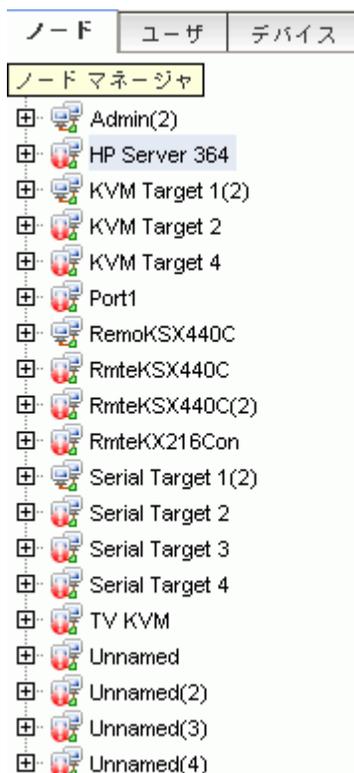


図 19 標準ツリー表示のノード ツリー

- ノードは名前のアルファベット順に表示されます。
- インタフェースは親ノードの下に分類されています。+ と - の記号をクリックすると、分類を広げたり折りたたんだりすることができます。
- ツリー全体を広げたり折りたたんだりするには、画面上部にあるツールバーで [ツリーを広げる] および [ツリーを折りたたむ] の各アイコンをクリックします。

カスタム表示

ノードのツリー表示をカスタマイズするには、CC-SG 管理者が割り当てたカテゴリを基に、選択した形式で表示されるようにノードを体系化します。たとえば、管理者がラックとロケーションに対してカテゴリを割り当てた場合は、最初にインストールされたロケーション別に、続いてラック別に表示するカスタム表示を設定できます。

カスタム表示の選択

1. [ノード] メニューの [表示の変更] をクリックし、さらに [カスタム表示] をクリックします。[カスタム表示] 画面が表示されます。

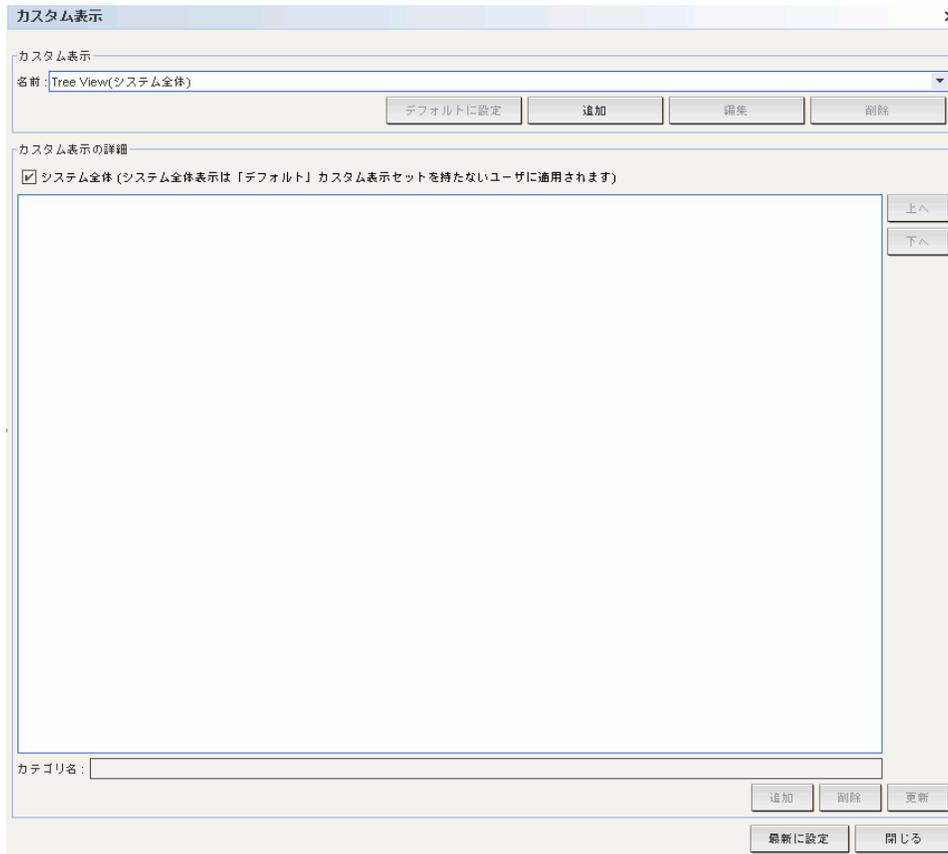


図 20 カスタム表示画面

2. [名称] ドロップダウン矢印をクリックし、リストから [カスタム表示] を選択します。[カスタム表示の詳細] パネルに、指定されたカテゴリとその順番の詳細が表示されます。
3. [最新に設定] をクリックすると、カスタム表示に指定されたカテゴリごとに、ノード ツリーが表示されます。
4. [閉じる] をクリックして [カスタム表示] 画面を閉じます。

カスタム表示の追加

1. [ノード] タブをクリックします。
2. [ノード] メニューの [表示の変更] をクリックし、さらに [カスタム表示の作成] をクリックします。[カスタム表示] 画面が表示されます。
3. [カスタム表示] パネルで、[追加] をクリックします。[カスタム表示の追加] ウィンドウが表示されます。

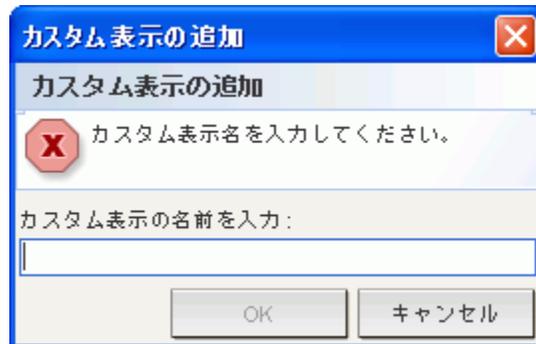


図 21 カスタム表示の追加ウィンドウ

4. [カスタム表示の名前を入力] フィールドにカスタム表示の新しい名前を入力し、[OK] をクリックします。[カスタム表示] 画面の [名称] フィールドに新しい表示名が表示されます。
5. [カスタム表示の詳細] パネルで、パネル下部にある [カテゴリ名] ドロップダウン矢印をクリックします。このリストには、新しいカスタム表示に追加できるカテゴリが表示されます。リストからカテゴリを選択して [追加] をクリックし、[カスタム表示の詳細] パネルにカテゴリを追加します。この手順を繰り返し、必要な数だけカテゴリを追加します。
6. [カスタム表示の詳細] リストに含まれるカテゴリは、[ノード] タブにカテゴリを表示する順で配置する必要があります。カテゴリを選択し、[上へ] または [下へ] をクリックして指定どおりにカテゴリを移動します。
7. リストからカテゴリを削除する場合は、カテゴリを選択して [削除] をクリックします。
8. [更新] をクリックしてカスタム表示を保存します。「カスタム表示が正常に更新されました」というメッセージが表示され、カスタム表示が更新されたことを確認します。
9. 新しいカスタム表示を使用する場合は、[最新に設定] をクリックすると、カスタム表示で指定したカテゴリの順序でノード ツリーが表示されます。
10. さらにカスタム表示を追加するには、このセクションの該当する手順を繰り返します。

カスタム表示の編集

1. [ノード] タブをクリックします。
2. [ノード] メニューの [表示の変更] をクリックし、さらに [カスタム表示の作成] をクリックします。[カスタム表示] 画面が表示されます。
3. [名称] ドロップダウン矢印をクリックし、リストから [カスタム表示] を選択します。[カスタム表示の詳細] パネルに、指定されたカテゴリとその順番の詳細が表示されます。

4. [カスタム表示] パネルで [編集] をクリックします。[カスタム表示の編集] ウィンドウが表示されます。



図 22 カスタム表示の編集 ウィンドウ

5. [カスタム表示の新しい名前を入力] フィールドにカスタム表示の新しい名前を入力し、[OK] をクリックします。[カスタム表示] 画面の [名称] フィールドに新しい表示名が表示されます。
6. カスタム表示に、さらにカテゴリを追加する場合は、パネル下部にある [カテゴリ名] ドロップダウン矢印をクリックします。このリストには、新しいカスタム表示に追加できるカテゴリが表示されます。リストからカテゴリを選択して [追加] をクリックし、[カスタム表示の詳細] リストにカテゴリを追加します。この手順を繰り返し、必要な数だけカテゴリを追加します。
7. [カスタム表示の詳細] リストに含まれるカテゴリは、[ノード] タブにカテゴリを表示する順で配置する必要があります。カテゴリを選択し、[上へ] または [下へ] をクリックして指定どおりにカテゴリを移動します。
8. リストからカテゴリを削除する場合は、カテゴリを選択して [削除] をクリックします。
9. [更新] をクリックしてカスタム表示を保存します。「カスタム表示が正常に更新されました」というメッセージが表示され、カスタム表示が更新されたことを確認します。
10. 編集したカスタム表示を使用する場合は、[最新に設定] をクリックすると、カスタム表示で指定したカテゴリの順序でノード ツリーが表示されます。
11. さらにカスタム表示を編集するには、このセクションの該当する手順を繰り返します。

カスタム表示の削除

1. [ノード] タブをクリックします。
2. [ノード] メニューの [表示の変更] をクリックし、さらに [カスタム表示の作成] をクリックします。[カスタム表示] 画面が表示されます。
3. [名称] ドロップダウン矢印をクリックし、リストから [カスタム表示] を選択します。[カスタム表示の詳細] パネルに、指定されたカテゴリとその順番の詳細が表示されます。
4. [カスタム表示] パネルで [削除] をクリックします。[カスタム表示の削除] の確認メッセージが表示されます。



図 23 カスタム表示の削除ウィンドウ

5. 表示された確認メッセージで [はい] をクリックします。
6. [閉じる] をクリックして [カスタム表示] 画面を閉じます。
7. さらにカスタム表示を削除するには、このセクションの該当する手順を繰り返します。

ノードソート時のオプション

ツリー表示とカスタム表示のいずれのノード表示タイプも、アルファベット順または可用性ステータス順で並べ替えることができます。

1. [ノード] タブの空白の領域を右クリックし、[ノード並べ替えオプション] をクリックして、[ノード名でソート] または [ノードステータスでソート] をクリックします。
 - [ノード名でソート] ではノード名のアルファベット順で並びます。
 - [ノードステータスでソート] では可用性 (利用可能、使用中、利用不可) ごとに並びます。

ノードのパワー制御

単一のインタフェースからのパワー制御

パワー制御は、特定のパワー制御インタフェース上で右クリックし、メニューから目的のパワー操作を選択することで簡単に実行できます。

1. ノード ツリーで、パワー制御を実行するインタフェースを右クリックして、[電源オン]、[電源オフ]、[電源オン・オフ]、[正常なシャットダウン] のいずれかをクリックします。[パワー制御] 画面が表示されます。

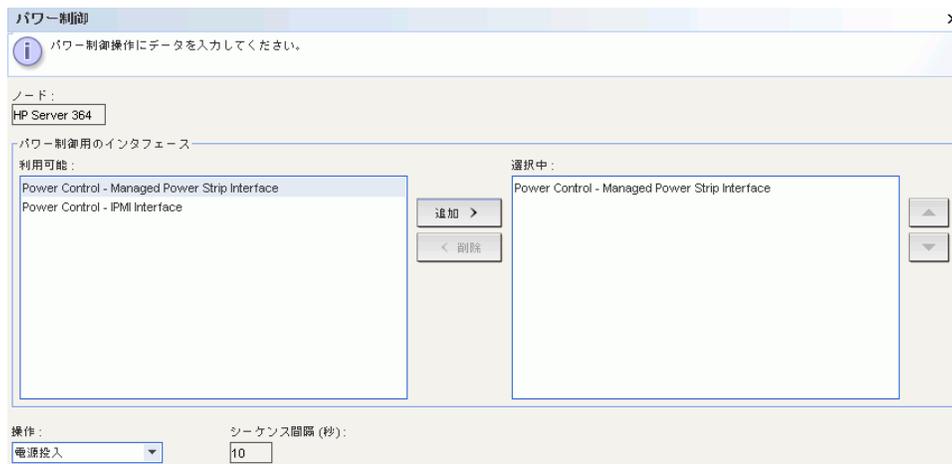


図 24 単一のインタフェースからのパワー制御

2. 選択されたインタフェースは [選択中] リストに表示されます。右クリック メニューで選択したパワー制御が、[操作] フィールドに表示されます。
3. [OK] をクリックして、インタフェースにパワー操作のリクエストを送信します。画面に、確認メッセージが表示されます。このメッセージは、パワー制御操作が正常に完了すると更新されます。パワー制御操作が完了できない場合、新しいウィンドウに詳細情報のメッセージが表示されます。

シングル ノード パワー制御

パワー インタフェースに関連付けられた単一ノードを、電源オン、電源オフ、電源オン・オフ (電源を切断後、再投入)、および正常にシャットダウンすることができます。

1. [ノード] タブをクリックします。
2. パワー制御を実行するノードを選択します。
3. [ノード] メニューの [パワー制御] をクリックします。[パワー制御] 画面が表示されます。

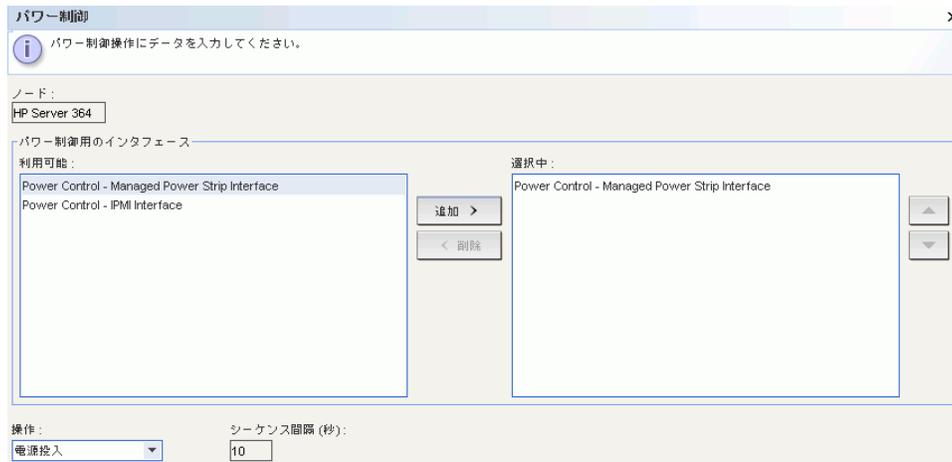


図 25 パワー制御画面

4. 選択されたノードの名前が [ノード] フィールドに表示されます。
5. [利用可能] リストで、パワー制御を実行する特定のインタフェースを選択して [追加] をクリックすることで、そのインタフェースを [選択中] リストに移動します。この手順を、すべての必要なインタフェースが [選択中] リストに追加されるまで繰り返します。
6. [選択中] リスト内のインタフェースは、CC-SG でパワー操作を実行する順序にする必要があります。[選択中] リストでインタフェースを選択し、そのインタフェースが目的の順序になるように上下の矢印ボタンをクリックして移動します。
7. [操作] ドロップダウン矢印をクリックし、リストから [オン]、[オフ]、[サイクル] または [正常なシャットダウン] を選択します。
8. [操作] フィールドで [電源オン]、[電源オフ] または [正常なシャットダウン] を選択、および [選択中] リストで複数のインタフェースを選択した場合は、[シーケンス間隔 (秒)] フィールドにインタフェース間の操作間隔を 0 ~ 120 の秒数で入力します。
9. [OK] をクリックして、インタフェースにパワー操作のリクエストを送信します。画面に、確認メッセージが表示されます。このメッセージは、パワー制御操作が正常に完了すると更新されます。パワー制御操作が完了できない場合、新しいウィンドウに詳細情報のメッセージが表示されます。
10. 他のノードの電源を管理するには、このセクションの手順を繰り返します。

ノードグループ パワー制御

パワー インタフェースに関連付けられたノードグループ内のすべてのノードを、電源オン、電源オフ、電源オン・オフ (電源を切断後、再投入)、正常にシャットダウンすることができます。この操作は、ノードグループが設置されているラックを配線し直したり、ノードグループに別のメンテナンスを実行する必要があるときに、1 つのノードグループ内のすべてのノードの電源をオフにする場合に便利です。

1. [ノード] タブをクリックします。
2. [ノード] メニューの [グループ パワー制御] をクリックします。[グループ パワー制御] 画面が表示されます。

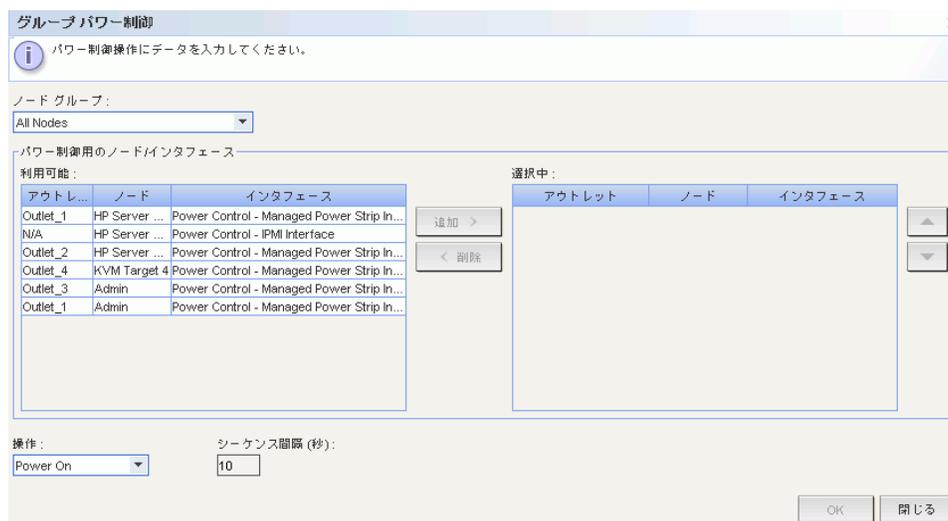


図 26 グループ パワー制御画面

3. [ノードグループ] ドロップダウン矢印をクリックし、リストからパワー制御するノードグループを選択します。
4. [利用可能] リストで、パワー制御を実行する特定のインタフェースを選択して [追加] をクリックすることで、そのインタフェースを [選択中] リストに移動します。この手順を、すべての必要なインタフェースが [選択中] リストに追加されるまで繰り返します。インタフェースを削除する必要がある場合は、[選択中] リスト内のインタフェースを選択して、[削除] をクリックします。
5. [選択中] リスト内のインタフェースは、CC-SG でパワー制御操作を実行する順序にする必要があります。[選択中] リストでインタフェースを選択し、そのインタフェースが目的の順序になるように上下の矢印ボタンをクリックして移動します。
6. [操作] ドロップダウン矢印をクリックし、リストから [電源オン]、[電源オフ]、[電源オン・オフ] または [正常なシャットダウン] を選択します。
7. [操作] フィールドで [電源オン]、[電源オフ] または [正常なシャットダウン] を選択した場合は、[シーケンス間隔 (秒)] フィールドにインタフェース間の操作間隔を 0 ~ 120 の秒数で入力します。
8. [OK] をクリックして、インタフェースにパワー制御操作のリクエストを送信します。画面に、確認メッセージが表示されます。このメッセージは、パワー制御操作が正常に完了すると更新されます。パワー制御操作が完了できない場合、新しいウィンドウに詳細情報のメッセージが表示されます。
9. 他のノードグループの電源を管理するには、このセクションの手順を繰り返します。

ノード チャット

チャットにより、同じノードに接続されているユーザが互いに通信できます。ノードでチャットセッションを開始するには、そのノードに接続されている必要があります。同じノード上のユーザのみが、互いにチャットすることができます。

チャットセッションに参加するには、以下の手順に従います。

1. [ノード] タブをクリックします。
2. 現在接続しているノードを右クリックし、セッションが作成されていない場合は、[チャット] - [チャットセッションの開始] を選択します。チャットセッションが作成されます。

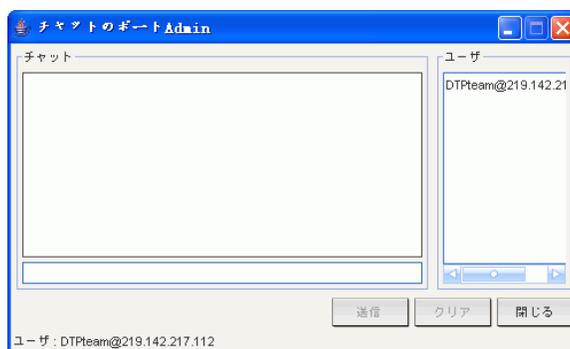


図 27 チャットセッション

チャットセッションがすでに実行中の場合は、ノードを右クリックして [チャット] - [チャットセッションの表示] を選択し、チャットセッションに参加します。

チャットセッションウィンドウが表示され、ウィンドウの左側にはメッセージフィールドが、右側にはチャットセッションに参加中のユーザのリストが表示されます。

3. 新しいメッセージのフィールド (左下) にメッセージを入力し、**Enter** キーを押すか、[送信] をクリックします。すべてのユーザに表示されるよう、メッセージがチャットフィールド (左上) に表示されます。
4. 新しいメッセージフィールドに入力したが、まだ送信していないメッセージをクリアするには、[クリア] をクリックします。チャットフィールドは [クリア] によってはクリアされません。
5. [閉じる] をクリックしてチャットセッションから出るか、チャットセッションを終了します。
6. チャットセッションを閉じるかどうかの確認プロンプトが表示されます。[はい] をクリックして、全参加者のすべてのチャットセッションを閉じます。または、[いいえ] をクリックして、チャットセッションは終了するが、他のユーザ用にチャットセッションを実行したままにしておきます。

[ノード] タブから、全参加者のチャットセッションを閉じることもできます。チャットセッションを実行しているノードを右クリックし、[チャット] - [チャットセッションの終了] を選択します。

ノードの検索

CC-SG の検索機能により、検索条件に一致するノードを検索できます。CC-SG には、[検索結果でフィルタ] および [一致する文字列の検索] という2種類の検索タイプがあります。

- [検索結果でフィルタ] では、検索条件を入力して [検索] ボタンをクリックすると、その検索条件に一致するノードのみが一覧表示されます。この検索タイプではワイルドカード (*) を使用できます。
- [一致する文字列の検索] では、入力した検索条件に一致するものを一覧表示し、ノードをハイライトします。[検索] ボタンはありません。この検索タイプではワイルドカード (*) は使用できません。

検索設定は CC-SG プロファイルで設定できます。プロファイルにアクセスするには、[Secure Gateway] メニューの [プロファイル] をクリックします。詳細は「[プロファイルの変更 - 検索設定の設定](#)」を参照してください。

1. [ノード] タブをクリックします。

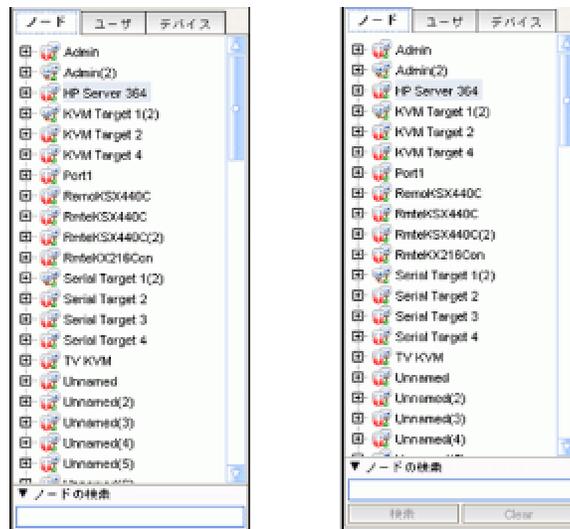


図 28 ノードの検索 -- 左：一致する文字列の検索; 右：検索結果でフィルタ

2. [ノードの検索] フィールドに検索文字列を入力します。
3. 検索設定によって、検索条件に一致する最初のノードをノード ツリーでハイライトするか、または [検索] をクリックして検索条件に一致するノードのみをフィルタして一覧表示するかを選択できます。

サポートされるワイルドカード

[検索結果でフィルタ] を [プロファイル] の検索設定として設定している場合は、次のワイルドカードがサポートされます。検索設定の詳細は[プロファイルの変更 - 検索設定の設定](#)を参照してください。

ワイルドカード	説明
?	任意の文字を示す。
[-]	範囲内の文字を示す。
*	0 か 1 文字以上の文字を示す。

次に例を示します。

例	説明
Solaris?	「Solaris1」や「SolarisN」はヒットしますが、「Solaris1Z」はヒットしません。
Windows*	「Windows2000」および「Windows2003 サーバ」がヒットします。
Windows[0-9][0-9][0-9][0-9]	「Windows2000」はヒットしますが「Windows2003 サーバ」はヒットしません。
192.*	「192」で始まる IP アドレスが設定されているすべてのノードがヒットします。

プロフィールの変更

[プロフィール] からは、CC-SG のパスワードと電子メールアドレスの変更、CC-SG の表示フォントサイズの調整、およびデフォルトの検索タイプ設定を設定できます。パスワードの変更を強制されるまでのパスワードの使用期間も確認できます。

パスワードの変更

CC-SG のパスワードは、いつでも変更できます。CC-SG 管理者は、CC-SG を設定することでパスワードを定期的に変更するように強制することもできます。

パスワードを変更するには、以下の手順に従います。

1. [Secure Gateway] メニューの [プロフィール] をクリックします。[Change My Profile](プロフィールの変更) 画面が表示されます。

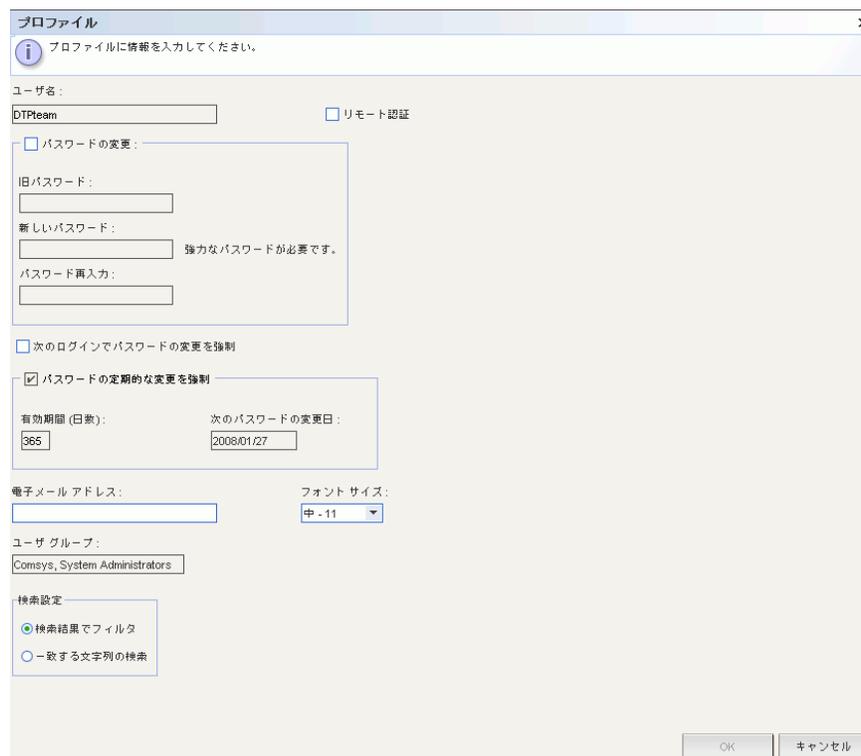


図 29 プロファイル画面

2. [パスワードの変更] チェックボックスをオンにして、パスワード フィールドを有効にします。
3. [旧パスワード] フィールドに現在のパスワードを入力します。
4. [新しいパスワード] フィールドと [パスワード再入力] フィールドに新しいパスワードを入力します。

注: [新しいパスワード] フィールドの上に [強力なパスワードが必要です] というテキスト ラベルが表示されている場合、管理者が強力なパスワードを有効にしています。強力なパスワードは 8 文字以上で、管理者が定義した条件を満たさなければなりません。[新しいパスワード] フィールドの隣に [強力なパスワードは必要ありません] というテキスト ラベルが表示されている場合、管理者が強力なパスワードを無効にしています。パスワードを 6~16 文字の間で設定してください。

5. [OK] をクリックして新しいパスワードを設定します。

電子メールアドレスの変更

1. [Secure Gateway] メニューの [プロフィール] をクリックします。[Change My Profile](プロフィールの変更) 画面が表示されます。
2. [電子メールアドレス] フィールドに新しい電子メールアドレスを入力し、[OK] をクリックします。

CC-SG フォント サイズの変更

CC-SG の画面に表示されるすべてのテキストには、選択したフォント サイズが使用されます。

1. [Secure Gateway] メニューの [プロフィール] をクリックします。[Change My Profile](プロフィールの変更) 画面が表示されます。
2. [フォント サイズ] ドロップダウン矢印をクリックして、CC-SG の画面で表示するフォント サイズを選択します。
3. [OK] をクリックします。

検索設定の設定

CC-SG には、[検索結果でフィルタ] および [一致する文字列の検索] という 2 種類の検索タイプがあります。検索設定は [プロフィール] で設定できます。

[検索結果でフィルタ] では、検索条件を入力してボタンをクリックすると、その検索条件に一致するノードのみが一覧表示されます。この検索タイプではワイルドカード (*) を使用できます。

[一致する文字列の検索] では、入力した検索条件に一致するものを一覧表示し、ノードをハイライトします。この検索タイプではワイルドカード (*) は使用できません。

検索設定を設定するには、以下の手順に従います。

1. [Secure Gateway] メニューの [プロフィール] をクリックします。[Change My Profile](プロフィールの変更) 画面が表示されます。
2. [検索設定] パネルで、使用する検索タイプに対応するラジオ ボタンをクリックして [OK] をクリックします。

第 4 章: CC-SG Access Client を使用したノードへの接続とノードの操作方法

CC-SG Access Client では、各ノードに関連付けられたインタフェースを介してノードに接続できます。各ノードには [ノードの詳細] 画面があり、この画面には関連付けられたアクセス可能なインタフェースがすべて一覧表示されます。

左パネルのノードリスト ([すべてのノード]、[お気に入り]、[最近使用]) のいずれかでノードを 1 つクリックすると、選択されたノードの [ノードの詳細] 画面が表示されます。他のタブを表示した後は、画面上部の [ノード] タブをクリックして、選択したノードの [ノードの詳細] 画面に戻ることができます。

ホーム > ノード
HP Server 364

インタフェース:

タイプ	名称	ステータス	可用性	デバイス/IP アドレス
Out-of-Band - KVM	KVM Target 1	下へ		Kenny-KSX440
In-Band - RDP	In-Band - RDP Interface	下へ		192.168.1.1

パワー制御:

Power Control - IPMI Interface
Power Control - Managed Power Strip Interface
Power Control - Managed Power Strip Interface

[詳細](#)

関連:

カテゴリ	エレメント
Location	New York Office
Operating System	Windows XP

図 30 CC-SG HTML Client のノードの詳細画面

アウト オブ バンド シリアル インタフェースを使用したノードへの接続

1. 左パネルのノードリストのいずれかで、接続および管理するノードを選択します。[ノードの詳細] 画面が表示されます。

ホーム > ノード ログアウト

HP Server 364

インタフェース:

タイプ	名称	ステータス	可用性	デバイス/IP アドレス
Out-of-Band - KVM	KVM Target 1	下へ		Kenny-KSX440
In-Band - RDP	In-Band - RDP Interface	下へ		192.168.1.1

パワー制御:

図 31 ノードプロフィール画面 -- アウト オブ バンド シリアル インタフェース

2. [ノードの詳細] 画面では、設定されているすべてのインタフェースが [インタフェース] セクションに表示されます。
3. [名称] 列で、ノードへの接続に使用するシリアル インタフェースのハイパーリンクをクリックします。

- RSC アプリケーションが新しいウィンドウで起動します。このアプリケーションを使用してデバイスとポートを管理します。

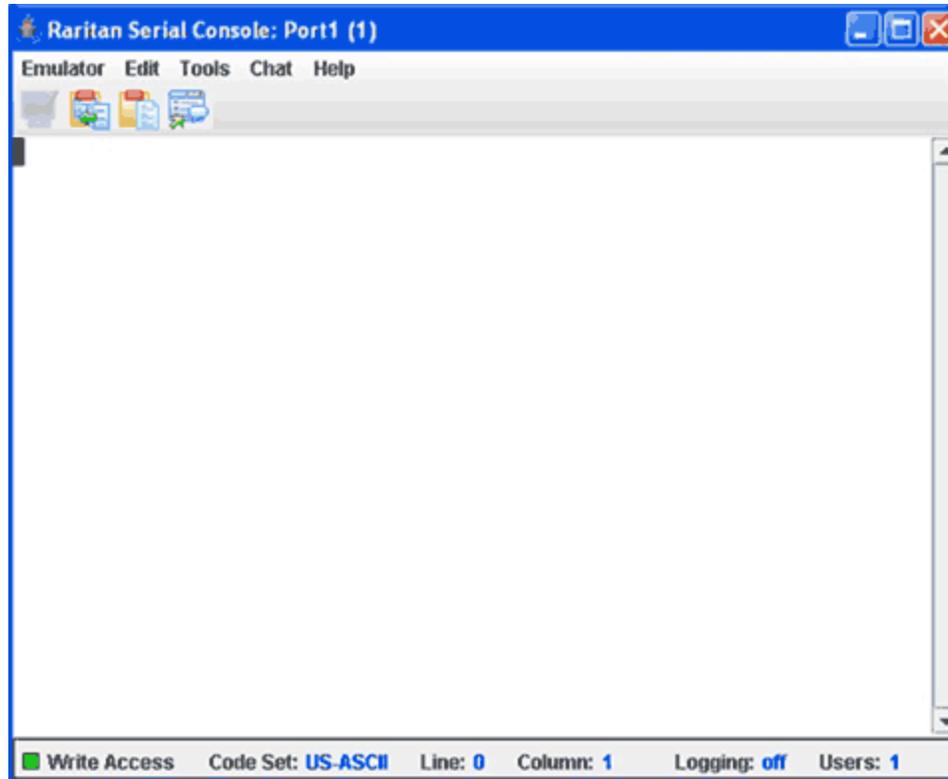


図 32 Raritan Serial Client ウィンドウ

- RSC によるポートの管理を終了する場合は、RSC の [Emulator] メニューの [Exit] をクリックします。
- アウト オブ バンド シリアル インタフェースを使用して他のノードへの接続と管理を実施するには、このセクションの手順を繰り返します。

アウト オブ バンド KVM インタフェースを使用したノードへの接続

- ノード ツリーで、接続および管理するノードを選択します。[ノードの詳細] 画面が表示されます。



図 33 ノード プロファイル画面 -- アウト オブ バンド KVM インタフェース

- [ノードの詳細] 画面では、設定されているすべてのインタフェースが [インタフェース] セクションに表示されます。
- [名称] 列で、ノードへの接続に使用する KVM インタフェースのハイパーリンクをクリックします。
- RRC または MPC アプリケーションが新しいウィンドウで起動します。

5. [Connection Status] ウィンドウに接続の状態が表示されます。接続が確立されると、RRC または MPC が開きます。

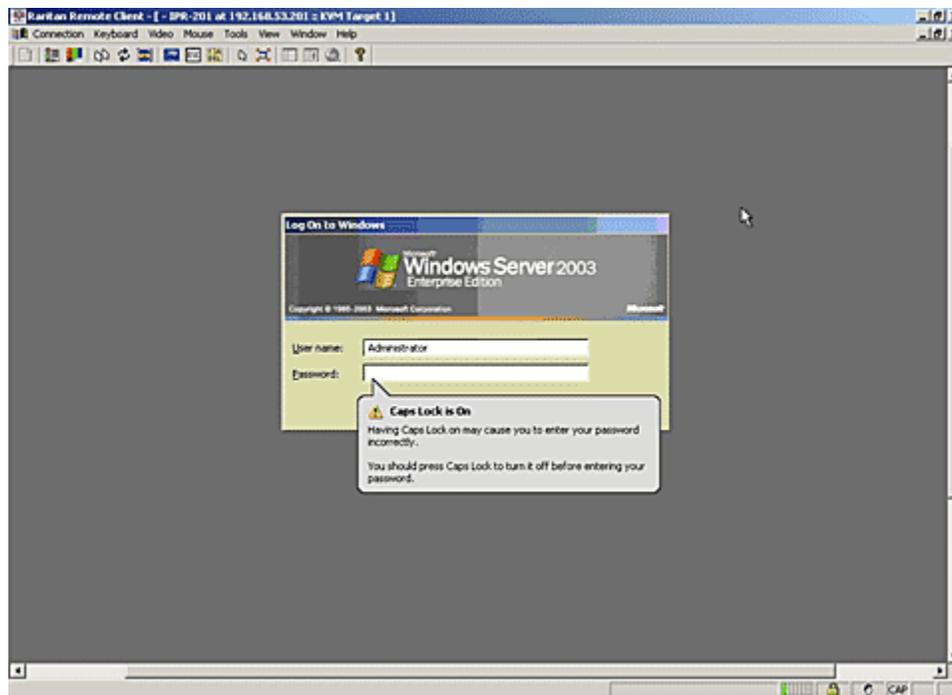


図 34 Raritan Remote Client ウィンドウ

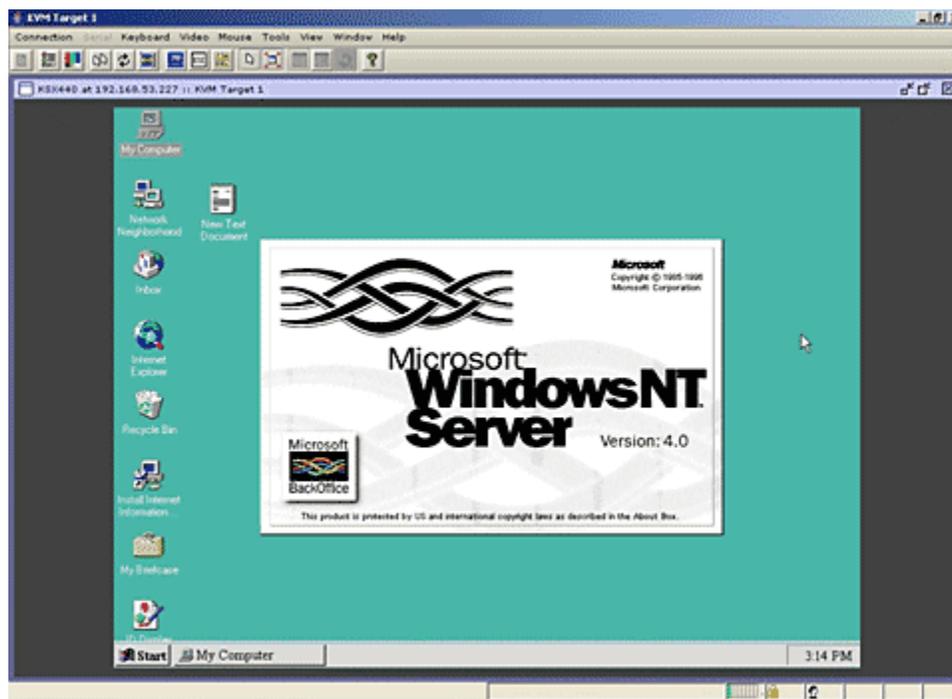


図 35 Multi-Platform Client ウィンドウ

注: MPC アプリケーションを使用している場合、MPC のユーザ プロファイルは CC-SG にも保存されます。それ以後、MPC を使用するポートに接続すると、保存されている設定が MPC セッションにも適用されます。

6. RRC または MPC によるノードの管理を終了する場合は、[Connection] メニューの [Exit] をクリックします。
7. KVM インタフェースを使用して他のノードへの接続と管理を実施するには、このセクションの手順を繰り返します。

注: KVM ノードがスリープモードで「ビデオ信号なし」と表示される場合は、キーボードのスペースバーを押してノードのスリープモードを解除します。

iLO/RILOE が有効なノードへの接続

1. ノード ツリーで、接続および管理する iLO/RILOE ノードを選択します。[ノードの詳細] 画面が表示されます。



図 36 ノード プロファイル画面 -- iLO/RILOE KVM インタフェース

2. [ノードの詳細] 画面では、設定されているすべてのインタフェースが [インタフェース] セクションに表示されます。
3. [名称] 列で、ノードへの接続に使用する KVM インタフェースのハイパーリンクをクリックします。
4. HP のリモート コンソール アプレットが起動します。アプレットがロードされると、iLO/RILOE が有効なサーバへの KVM アクセスが可能になります。

注: インバンド KVM インタフェースにアクセスできない場合、他のユーザがこのインタフェースを使用中である可能性があります。

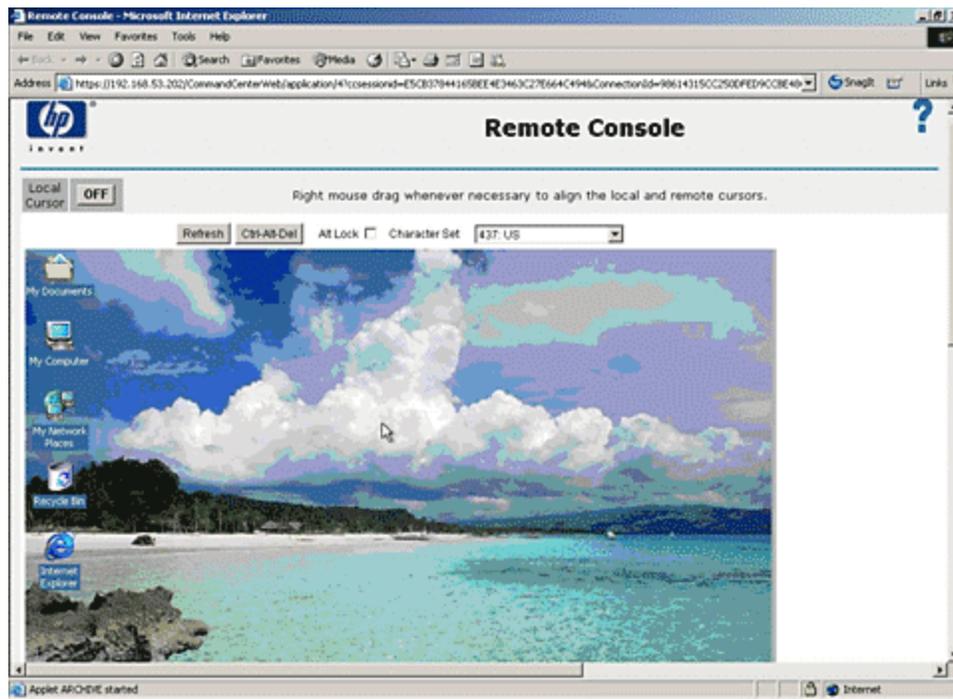


図 37 HP のリモートコンソール アプレット

5. Remote Console を使い終わったら、ブラウザ ウィンドウを閉じます。
6. 他の HP iLO/RILOE ノードへの接続と管理を実施するには、このセクションの手順を繰り返します。

iLO/RILO パワー インタフェースの管理

パワー インタフェース管理の詳細は、「[ノードのパワー制御](#)」を参照してください。

注: iLO/RILOE デバイスのノードの電源は、直接オン、オフ、再投入されます。KX や SX などの Raritan Dominion デバイスに接続されたノードは、Dominion デバイスのポートと関連付けられているサージプロテクタのアウトレットを使用して管理されます。

IPMI サーバノードのパワー制御

パワー インタフェース管理の詳細は、「[ノードのパワー制御](#)」を参照してください。

注: IPMI サーバの電源は、直接オン、オフ、再投入可能です。

ノードからの切断

ノードへの接続は、ノードを管理しているアプリケーションを閉じることで切断できます。

ノードのパワー制御

CC-SG では、単一ノードまたはパワー インタフェースが関連付けられたノードグループのパワーを制御できます。電源オン、電源オフ、電源オン・オフ、および正常なシャットダウンを実行できます。

シングル ノード パワー制御

[シングル ノード パワー制御] では、単一ノード内のすべてのインタフェースまたは選択されたインタフェースのパワーを制御できます。電源オンおよび電源オフの操作では、電源をオンまたはオフするインタフェースの順序を選択できます。

単一ノードのすべてのインタフェースのパワー制御：

1. 左パネルのノードリストのいずれかで、パワー制御するノードをクリックします。[ノードの詳細] 画面が表示されます。
2. [パワー制御] セクションで、[オン]、[オフ]、[サイクル] または [正常なシャットダウン] をクリックして、そのノードに関連付けられたすべてのインタフェースへのパワー制御操作を実行します。
3. 他のノードのパワー制御を実行するには、このセクションの手順を繰り返します。

単一ノードでのインタフェース選択によるパワー制御：

1. 選択したインタフェースの [シングル ノード パワー制御] へのアクセス方法は 2 通りあります。
 - a. 画面の上部にある [パワー制御] タブをクリックし、[シングル ノード パワー制御] をクリックして [シングル ノード パワー制御] 画面を開きます。
 - b. 左パネルのノードリストのいずれかで、パワー制御するノードをクリックし、選択されたノードの [ノードの詳細] 画面にある [パワー制御] セクションの [詳細] をクリックします。
2. [ノード] ドロップダウン矢印をクリックし、リストからパワー制御するノードを選択します。[利用可能] リストに、選択されたノードのすべてのインタフェースが表示されます。
3. [利用可能] リストで、パワー制御を実行する特定のインタフェースを選択して [追加] をクリックすることで、そのインタフェースを [選択中] リストに移動します。この手順を、すべての必要なインタフェースが [選択中] リストに追加されるまで繰り返します。
4. [選択中] リスト内のインタフェースは、CC-SG でパワー制御操作を実行する順序にする必要があります。[選択中] リストでインタフェースを選択し、そのインタフェースが目的の順序になるように上下の矢印ボタンをクリックして移動します。
5. [操作] ドロップダウン矢印をクリックし、リストから [オン]、[オフ]、[サイクル] または [正常なシャットダウン] を選択します。
6. 複数のインタフェースを選択した場合は、[シーケンス間隔 (秒)] フィールドにインタフェース間の操作間隔を秒数で入力します。
7. [OK] をクリックして、パワー制御操作を開始します。操作の開始時に表示される確認メッセージで [OK] をクリックします。操作が終了すると、操作のステータスを示す別のメッセージが表示されます。

ノードグループ パワー制御

[ノードグループ パワー制御] では、ノードグループ内のすべてのインタフェースまたは選択されたインタフェースのパワーを制御できます。電源オンおよび電源オフの操作では、電源をオンまたはオフするインタフェースの順序を選択できます。

ノードグループでのすべてまたは選択されたインタフェースのパワー制御

1. 画面の上部にある [パワー制御] タブをクリックし、[ノードグループ パワー制御] をクリックして [ノードグループ パワー制御] 画面を開きます。
2. [ノードグループ] ドロップダウン矢印をクリックし、リストからパワー制御するノードグループを選択します。[利用可能] リストに、選択されたノードグループのすべてのインタフェースが表示されます。
3. [利用可能] リストで、パワー制御を実行する特定のインタフェースを選択して [追加] をクリックすることで、そのインタフェースを [選択中] リストに移動します。この手順を、すべての必要なインタフェースが [選択中] リストに追加されるまで繰り返します。
4. [選択中] リスト内のインタフェースは、CC-SG でパワー制御操作を実行する順序にする必要があります。[選択中] リストでインタフェースを選択し、そのインタフェースが目的の順序になるように上下の矢印ボタンをクリックして移動します。
5. [操作] ドロップダウン矢印をクリックし、リストから [オン]、[オフ]、[サイクル] または [正常なシャットダウン] を選択します。

- 複数のインタフェースを選択した場合は、[シーケンス間隔 (秒)] フィールドにインタフェース間の操作間隔を秒数で入力します。
- [OK] をクリックして、パワー制御操作を開始します。操作の開始時に表示される確認メッセージで [OK] をクリックします。操作が終了すると、操作のステータスを示す別のメッセージが表示されます。

ノードリスト

CC-SG HTML Client の左パネルでは、複数の方法でノードを検出できます。[すべてのノード]、[お気に入り]、および [最近使用] という 3 つのリストが用意されており、それぞれのノードを異なる観点から表示します。それぞれのリストに各ノードのステータスを表示するアイコンが表示されます。リストのいずれかでノードをクリックすると、[ノードプロファイル] が表示されます。

[すべてのノード] リスト

[すべてのノード] リストには、アクセス可能なノードとノードの検索に一致したすべてのノードが表示されます。ノード検索の詳細は、「[ノードのパワー制御](#)」を参照してください。



図 38 すべてのノードリスト

[お気に入りのノード] リスト

[お気に入り] リストには、頻繁にアクセスする必要があるノードのリストをユーザごとに作成できます。[お気に入り] ノードリストでは、ノードを追加、削除、並べ替えできます。

お気に入りにノードを追加

- 左パネルの [すべてのノード] または [最近使用] リストをクリックします。
- [お気に入り] に追加するノードをクリックします。[ノードの詳細] 画面が表示されます。
- [ノードの詳細] 画面で、[お気に入りに追加] をクリックします。ブラウザウィンドウの下のステータスバーに確認メッセージが表示されると、[お気に入りに追加] リンクが [ノードの詳細] 画面に表示されなくなります。
- 他のノードを [お気に入り] に追加するには、このセクションの手順を繰り返します。

お気に入りのノードのソート

[お気に入り] タブに表示されているノードの順序を変更できます。

1. 左パネルの [お気に入り] リストをクリックします。



図 39 お気に入りリスト

2. [ソート] をクリックします。[お気に入りのソート] ウィンドウが表示されます。

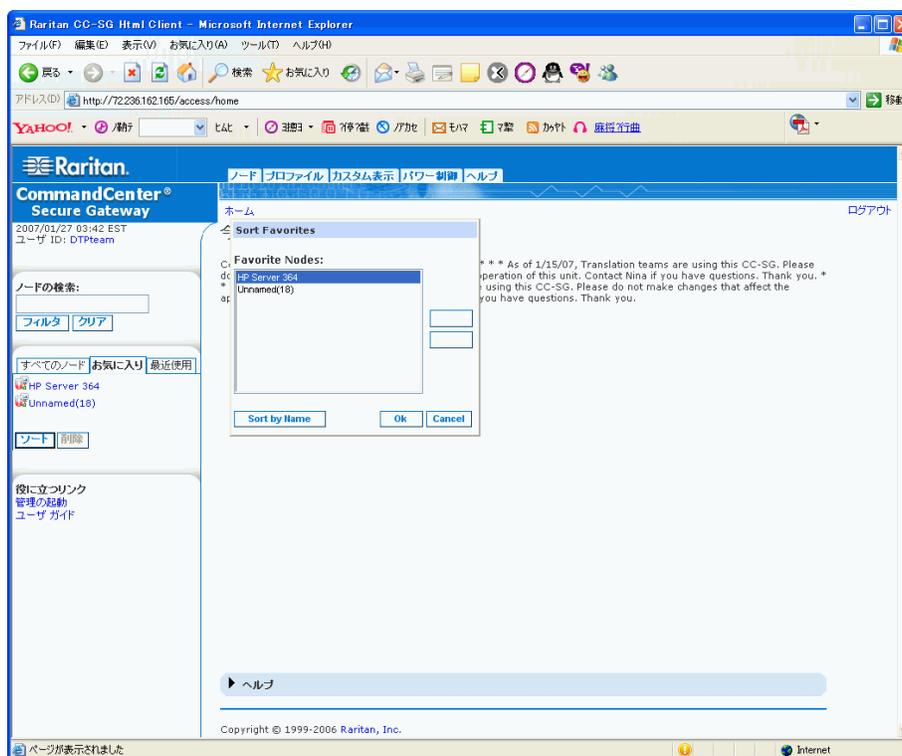


図 40 お気に入りのソート ウィンドウ

3. [お気に入りのノード] リスト内のノードは、[お気に入り] リストに表示するノードの順序にする必要があります。ノードを選択し、そのノードが目的の順序になるように上下の矢印ボタンをクリックして移動します。[名前ですべてソート] をクリックすると、英数字の順序でノードが並べ替えられます。
4. [OK] をクリックして変更を保存します。

お気に入りからノードを削除

1. [お気に入り] リストからノードを削除できます。
2. 左パネルの [お気に入り] リストをクリックします。削除するノードをクリックします。選択したノードの [ノードの詳細] 画面が表示されます。
3. [お気に入り] リストの [削除] をクリックして、リストからそのノードを削除します。

[最近使用] ノードリスト

[最近使用] リストには、リスト内でノードをクリックすることで最近アクセスした 10 のノードが表示されます。アクセスした各ノードは [最近使用] リストの最上部に追加されます。

[最近使用] ノードリストのクリア

1. 左パネルの [最近使用] リストをクリックします。



図 41 最近使用リスト

2. [すべてクリア] をクリックすると [最近使用] リストがクリアされます。

カスタム表示

[カスタム表示] タブでは、管理者が設定した関連を使用して、左パネルの [すべてのノード] リストの表示方法を指定できます。

CC-SG 管理者は関連を設定することにより、装置を整理しやすくなります。各関連には最上位の組織グループであるカテゴリと、それに関連するエレメント (カテゴリのサブセット) が含まれます。管理者が関連を設定していれば、[ノード] リストで表示する、特定のカテゴリとエレメントの組み合わせによるノードの表示方法を指定するカスタム表示を定義することができます。

CC-SG には [すべてのノード] リストをアルファベット順に並べ替える [標準表示] も用意されています。[標準表示] は変更を加えたり削除することはできません。

カスタム表示の変更

1. [カスタム表示] タブをクリックします。
2. [表示の名前] フィールドには、画面の [カテゴリ別の表示] セクションにカテゴリが表示されているカスタム表示名が表示されます。
3. [すべてのノード] リストに表示されるノードの各カテゴリの表示順序を変更するには、[選択中] リストのカテゴリをクリックしてから上下の矢印ボタンをクリックして、目的の順序になるようにカテゴリを移動します。
4. カスタム表示にカテゴリを追加する場合は、[利用可能] リストからカテゴリを選択し [追加] をクリックして、カテゴリを [選択中] リストに移動します。

5. カスタム表示からカテゴリを削除するには、[**選択中**] リストのカテゴリを選択してから [**削除**] をクリックして、カテゴリを [**利用可能**] リストに移動します。
6. [**保存**] をクリックして変更を保存します。[**標準表示**] に変更を加えることはできません。

新規カスタム表示の追加

1. [**カスタム表示**] タブをクリックします。
2. [**追加**] をクリックして [**表示の追加**] ウィンドウを開きます。
3. [**表示の名前**] フィールドにカスタム表示の名前を入力し、[**OK**] をクリックします。新しいカスタム表示名が、[**カスタム表示**] 画面の [**表示の名前**] フィールドに表示されます。
4. [**利用可能**] リストで、カスタム表示に追加するカテゴリを選択して [**追加**] をクリックすることで、そのインターフェースを [**選択中**] リストに移動します。この手順を、すべての必要なインターフェースが [**選択中**] リストに追加されるまで繰り返します。
5. [**選択中**] リスト内のカテゴリは、[**すべてのノード**] リストに表示する各ノードのカテゴリの順序にする必要があります。[**選択中**] リストでカテゴリを選択し、そのカテゴリが目的の順序になるように上下の矢印ボタンをクリックして移動します。
6. [**保存**] をクリックしてカスタム表示を保存します。

カスタム表示名の変更

1. [**カスタム表示**] タブをクリックします。
2. [**表示の名前**] ドロップダウン矢印をクリックし、名前を変更するカスタム表示をリストから選択します。
3. [**編集**] をクリックして [**表示の編集**] ダイアログを開きます。
4. [**表示の名前**] フィールドにカスタム表示の新しい名前を入力し、[**OK**] をクリックします。

カスタム表示の削除

1. [**カスタム表示**] タブをクリックします。
2. [**表示の名前**] ドロップダウン矢印をクリックし、リストから削除するカスタム表示を選択します。
3. [**削除**] をクリックします。[**標準表示**] は削除できません。

デフォルトのカスタム表示の指定

1. [**カスタム表示**] タブをクリックします。
2. [**表示の名前**] ドロップダウン矢印をクリックし、デフォルトにするカスタム表示をリストから選択します。
3. [**デフォルトに設定**] をクリックして、選択したカスタム表示をデフォルトに指定します。

カスタム表示の適用

1. [**カスタム表示**] タブをクリックします。
2. [**表示の名前**] ドロップダウン矢印をクリックし、リストから [**すべてのノード**] リストに適用するカスタム表示を選択します。
3. [**表示を適用**] をクリックすることで、選択したカスタム表示にしたがって [**すべてのノード**] リストをソートします。

ノードの検索

ノードの検索機能により、左パネルに表示されたノードリストでノードを検索できます。

1. 左パネルの上部にある [**ノードの検索**] フィールドに検索条件を入力します。

2. [ノードの検索] フィールドに入力すると、検索条件に一致するノードが、選択したノードリストでハイライトされます。
3. [フィルタ] をクリックすると、検索条件に一致するノードのみがリストに表示されます。
4. [クリア] をクリックすると、すべてのノードリストが再ロードされ、検索条件は削除されます。

サポートされるワイルドカード

[検索結果でフィルタ] を [プロファイル] の検索設定として設定している場合は、次のワイルドカードがサポートされます。検索設定の詳細は「[プロファイルの変更 - 検索設定の設定](#)」を参照してください。

ワイルドカード	説明
?	任意の文字を示す。
[-]	範囲内の文字を示す。
*	0 か 1 文字以上の文字を示す。

次に例を示します。

例	説明
Solaris?	「Solaris1」や「SolarisN」はヒットしますが、「Solaris1Z」はヒットしません。
Windows*	「Windows2000」および「Windows2003 サーバ」がヒットします。
Windows[0-9][0-9][0-9][0-9]	「Windows2000」はヒットしますが「Windows2003 サーバ」はヒットしません。
192.*	「192」で始まる IP アドレスが設定されているすべてのノードがヒットします。

ノード チャット

同じノードに接続している他のユーザとチャットできます。

1. 左パネルのノードリストのいずれかで、チャット相手のユーザが接続しているノードをクリックします。
[ノードの詳細] 画面が表示されます。
2. [インタフェース] セクションの下の [チャットの開始] をクリックします。[チャット] ダイアログが表示されます。
3. 一番下のボックスにメッセージを入力し、[送信] をクリックします。
4. チャット セッションを終了するには [終了] をクリックします。参加者は誰でもチャット セッションを終了することができます。ただし、チャットを開始したユーザがセッションを終了した場合、チャット セッション全体が終了し、すべてのチャット ウィンドウが閉じられます。自分が開始していないチャット セッションを終了する場合は、後でまだそのチャットがアクティブであれば再び参加できます。

プロファイル

[プロファイル] タブでは、パスワード、電子メールアドレス、デフォルトのノードリストを変更できます。

パスワードの変更

[プロファイル] の [パスワードの変更] セクションでは、CC-SG のパスワードを変更できます。

1. [プロファイル] タブをクリックします。[プロファイル] 画面が表示されます。

2. **[パスワードの変更]** チェックボックスをオンにして、パスワードフィールドを有効にします。
3. **[旧パスワード]** フィールドに現在のパスワードを入力します。
4. **[新しいパスワード]** フィールドと **[パスワード再入力]** フィールドに新しいパスワードを入力し、**[OK]** をクリックします。

注: **[新しいパスワード]** フィールドの上に **[強力なパスワードが必要です]** というテキストラベルが表示されている場合、管理者が強力なパスワードを有効にしています。強力なパスワードは 8 文字以上で、管理者が定義した条件を満たさなければなりません。

[新しいパスワード] フィールドの隣に **[強力なパスワードは必要ありません]** というテキストラベルが表示されている場合、管理者が強力なパスワードを無効にしています。パスワードを 6~16 文字の間で設定してください。

電子メールアドレスの変更

[プロフィール] 画面の **[電子メールアドレス]** フィールドには、CC-SG ユーザ ID に現在関連付けられている電子メールアドレスが表示されます。

1. **[プロフィール]** タブをクリックします。**[プロフィール]** 画面が表示されます。
2. **[電子メールアドレス]** フィールドに新しい電子メールアドレスを入力し、**[OK]** をクリックします。

デフォルトのノードリストの設定

[プロフィール] の **[デフォルトのノードリスト]** フィールドでは、ログイン時に左パネルで表示するノードリストを定義します。

1. **[プロフィール]** タブをクリックします。**[プロフィール]** 画面が表示されます。
2. **[デフォルトのノードリスト]** ドロップダウン矢印をクリックし、リストから **[すべてのノード]**、**[お気に入りのノード]**、**[最近使用したノード]** のいずれかを選択します。
3. **[OK]** をクリックしてデフォルトのノードリストの選択を保存します。

第 5 章: レポートの生成

レポートは、Access Client からではなく、Director Client からのみ生成できます。

列のヘッダをクリックすると、レポートをソートできます。ユーザ名やアクセス時刻などの列のヘッダをクリックすると、レポート データをその値ごとにソートできます。データはアルファベット、数字、または年代ごとに昇順で更新されます。列のヘッダを再度クリックすると、降順でソートされます。セル名の横にある上向きまたは下向きの矢印が、レポートのソート順を示します。

すべてのレポートの列の幅を変更するには、マウス ポインタが両向きの矢印になるまで、ヘッダ行の列のデバイス上に置きます。矢印を左右にクリック アンド ドラッグし、列幅を調整します。

使用するソート値と列幅は、次回にログインし CC-SG レポートを実行する場合に、デフォルトのレポートビューとなります。すべてのレポートで、行をダブルクリックするとそのレポートの詳細を表示できます。

注: すべてのレポートで、CTRL キーを押したままクリックすると、ハイライト表示されている列が選択解除されます。

アクティブ ノード レポート

アクティブ ノード レポートには、現在使用中のノードが表示されます。自分で接続を開始したノードの接続と切断の情報を表示できます。

1. [レポート] メニューの [ノード] をクリックし、[アクティブ ノード] をクリックします。[アクティブ ノード] レポートが生成されます。

ユーザ名	ノード	デバイス	開始の日付時刻	ユーザ IP アドレス	インタフェース	タイプ
DTPTeam	Admin	Kenny-KSX440	Thu Jan 25 04:22:04 E...	217.29.84.82	Admin	Out-of-Band - Serial
DTPTeam	Admin(2)	IP-ReachTest	Thu Jan 25 04:19:12 E...	219.142.217.112	Admin	Out-of-Band - Serial

レポートデータの管理... 切断 閉じる

図 42 アクティブ ノード レポート

- レポートを保存または印刷するには [レポート データの管理] をクリックします。選択した場所にレポートを保存するには [保存] をクリックします。レポートを印刷するには [印刷] をクリックします。
 - レポート テーブル内の任意のセルをクリックすると、新しいウィンドウにレポートの詳細が表示されます。レポートの詳細ウィンドウを閉じるには、[閉じる] をクリックします。
 - ノードから切断するには、リストからアクティブ ノードを選択して [切断] をクリックします。
2. [閉じる] をクリックして、アクティブ ノード レポートを終了します。

注: 自分が開始していないポートから切断することはできません。

ユーザ データ レポート

ユーザ データ レポートには、CC-SG データベース内のすべてのユーザに関するデータが表示されます。[ユーザ名] フィールドには、現在のセッション内のユーザの名前が表示されます。[電話] フィールドには、ダイヤル バック電話番号が表示されます。[有効] フィールドには、チェック ボックス [ログイン] が有効かどうかが表示されます。[パスワードの有効期間] には、パスワードの有効期間が表示されます。

1. [レポート] メニューの [ユーザ データ] をクリックします。[すべてのユーザのデータ] レポートが生成されます。スクロール バーを使用してリストをスクロールすると、すべてのエントリが閲覧できます。

ユーザ名	アクセス時刻	登録時刻	リモート アドレス	リモート ホスト	サーバノード	ログインタイプ
DTTeam	2007/01/25 02:44:33 ...	2007/01/25 02:44:39 ...	219.142.217.112	219.142.217.112	72.236.162.165	CC Client
DTTeam	2007/01/25 03:27:10 ...	2007/01/25 03:27:10 ...	219.142.217.112	219.142.217.112	192.168.33.103	Html Client
DTTeam	2007/01/25 03:33:27 ...	2007/01/25 03:33:27 ...	219.142.217.112	219.142.217.112	192.168.33.103	Html Client
DTTeam	2007/01/25 03:39:56 ...	2007/01/25 03:39:56 ...	219.142.217.112	219.142.217.112	192.168.33.103	Html Client
DTTeam	2007/01/25 03:49:36 ...	2007/01/25 03:49:36 ...	217.29.84.82	217.29.84.82	72.236.162.165	CC Client

図 43 すべてのユーザのデータ レポート

2. レポートを保存または印刷するには、[レポート データの管理] をクリックします。場所を選択してレポートを保存する場合には [保存] をクリックし、レポートを印刷する場合には [印刷] をクリックします。ウィンドウを閉じるには [閉じる] をクリックします。
3. [すべてのユーザのデータ] レポートを閉じるには、[閉じる] をクリックします。

付録 A : ショートカット キー

Director Client では、次のショートカット キーを使用できます。

操作	ショートカット キー
更新	F5
パネルの印刷	Ctrl + P
ヘルプ	F1

255-80-3100

北米

Raritan

400 Cottontail Lane
Somerset, NJ 08873
U.S.A.
電話 : (732) 764-8886 (732) 764-8886
または (800) 724-8090
Fax : (732) 764-8887
電子メール : sales@raritan.com
Web サイト : Raritan.com

Raritan NC

4901 Waters Edge Dr.
Suite 101
Raleigh, NC 27606
電話 : (919) 277-0642
電子メール : sales.nc@raritan.com
Web サイト : Raritan.com

Raritan カナダ

4 Robert Speck Pkwy, Suite 1500
Mississauga, ON L4Z 1S1 Canada
電話 : (905) 949-3650
Fax : (905) 949-3651
電子メール : sales.canada@raritan.com
Web サイト : Raritan.ca

ヨーロッパ

Raritan オランダ

Eglantierbaan 16
2908 LV Capelle aan den IJssel
The Netherlands
電話 : (31) 10-284-4040
Fax : (31) 10-284-4049
電子メール : sales.europe@raritan.com
Web サイト : Raritan.info

Raritan ドイツ

Lichtstraße 2
D-45127 Essen, Germany
電話 : (49) 201-747-98-0
Fax : (49) 201-747-98-50
電子メール : sales.germany@raritan.com
Web サイト : Raritan.de

Raritan フランス

120 Rue Jean Jaurés
92300 Levallois-Perret, France
電話 : (33) 14-756-2039
Fax : (33) 14-756-2061
電子メール : sales.france@raritan.com
Web サイト : Raritan.fr

Raritan イギリス

36 Great St. Helen's
London EC3A 6AP, United Kingdom
電話 : (44) 20-7614-7700
Fax : (44) 20-7614-7701
電子メール : sales.uk@raritan.com
Web サイト : Raritan.co.uk

Raritan イタリア

Via dei Piatti 4
20123 Milan, Italy
電話 : (39) 02-454-76813
Fax : (39) 02-861-749
電子メール : sales.italy@raritan.com
Web サイト : Raritan.it

日本

日本ラリタン東京本社

〒104-0033 東京都中央区新川 1-26-2
新川 NS ヒルテック 4F
電話 : (81) 03-3523-5991
Fax : (81) 03-3523-5992
電子メール : sales@raritan.co.jp
Web サイト : Raritan.co.jp

大阪事務所

1-15-8 〒550-0005 大阪市西区西本町 1-15-8
本町フェニックスビル 8F
電話 : (81) (6) 4391-7752
Fax : (81) (6) 4391-7761
電子メール : sales@raritan.co.jp
Web サイト : Raritan.co.jp

アジア太平洋

Raritan 台湾

5F, 121, Lane 235, Pao-Chiao Road
Hsin Tien City
Taipei Hsien, Taiwan, ROC
電話 : (886) 28919-1333
Fax : (886) 28919-1338
電子メール : sales.taiwan@raritan.com
中国語 Web サイト : Raritan.com.tw
英語 Web サイト : Raritan-ap.com

Raritan China 上海

Rm 17E Cross Region Plaza
No. 899 Lingling Road
Shanghai, China 200030
電話 : (86) 215425-2499
Fax : (86) 215425-3992
電子メール : sales.china@raritan.com
Web サイト : Raritan.com.cn

Raritan China 北京

Unit 1310, Air China Plaza
No.36 XiaoYun Road
Chaoyang District
Beijing 100027, China
電話 : (86) 108447-5706
Fax : (86) 108447-5700
電子メール : sales.china@raritan.com
Web サイト : Raritan.com.cn

Raritan China 広州

Room 1205/F, Metro Plaza
183 Tian He Bei Road
Guangzhou 510075 China
電話 : (86-20)8755 5581
Fax : (86-20)8755 5571
電子メール : sales.china@raritan.com
Web サイト : Raritan.com.cn

Raritan Korea

#3602, Trade Tower,
World Trade Center
Samsung-dong, Kangnam-gu
Seoul, Korea
電話 : (82) 2 557-8730
Fax : (82) 2 557-8733
電子メール : sales.korea@raritan.com
Web サイト : Raritan.co.kr

Raritan オーストラリア

Level 2, 448 St Kilda Road,
Melbourne, VIC 3004, Australia
電話 : (61) 39866-6887
Fax : (61) 39866-7706
電子メール : sales.au@raritan.com
Web サイト : Raritan.co.au

Raritan インド

210 2nd Floor Orchid Square Sushant Lok
1,
Block B, Gurgaon 122 002 Haryana India
電話 : (91) 124 5107881
Fax : (91) 124 5107880
電子メール : sales.india@raritan.com
Web サイト : Raritan.co.in

Raritan OEM 事業部

Peppercon AG, Raritan OEM Division
Scheringerstrasse 1
08056 Zwickau Germany
電話 : (49) 375-27-13-49-0
電子メール : info@peppercon.com
Web サイト : www.peppercon.de